

平成27年度

事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

事業報告書目次

I 一般庶務	1
II 埋蔵文化財調査事業	3
III 文化財資料活用事業	8
IV 大阪府立弥生文化博物館事業	15
V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業	39
VI 日本民家集落博物館事業	62

平成27年度 事業報告

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

平成27年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
平成27年4月1日	理事会 書面表決	—	1.理事1名選任(案)について
平成27年4月1日	評議員会 書面表決	—	1.理事1名選任(案)について
平成27年4月1日	評議員会 書面表決	—	1.大阪府文化財センター役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正の件について
平成27年6月5日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成26年度事業報告及び収支決算について 2.平成27年度補正予算書(案)について 3.定時評議員会の招集事項について
平成27年6月25日	定時 評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成26年度事業報告及び収支決算について 2.定款の変更について 3.理事・監事の選任について 4.評議員の選任について
平成27年6月25日	理事会 書面表決	—	1.業務執行理事(専務理事)1名選定(案)について
平成27年11月30日	第2回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成27年度事業の進捗について 2.平成27年度 補正予算書(案)について 3.各博物館指定管理の申請について 4.労働者派遣について
平成28年3月24日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成27年度第三次補正予算書(案)について 2.平成28年度 事業計画書(案)及び 収支予算書(案)について

2. 役員・評議員の異動状況

年 月 日	就	任	辞	任
平成27年4月1日	理事	星住哲二(新任)		
平成27年6月25日			理事	駒田朝則
平成27年6月25日			理事	興津厚志
平成27年6月25日	理事	秋山 芳廣		
平成27年6月25日	理事	坂井 秀弥		
平成27年6月25日	理事	白石 太一郎		
平成27年6月25日	理事	福永 伸哉		
平成27年6月25日	理事	嶋岡 昌利(新任)		
平成27年6月25日	監事	鳴澤 成泰		
平成27年6月25日	監事	真川 正満		
平成27年6月25日			評議員	西牧 研壯
平成27年6月25日	評議員	池田 良治		
平成27年6月25日	評議員	須藤 健一		
平成27年6月25日	評議員	高井 道弘		
平成27年6月25日	評議員	南谷 恵敬		
平成27年6月25日	評議員	岡本 克己(新任)		
平成27年6月25日	評議員	工楽 善通(新任)		

Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

大阪府下における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

- ① 国土交通省 大阪航空局が計画している八尾空港西側跡地 東西道路整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
長原遺跡・八尾南遺跡 [確認]	15,024,000	508	大阪市平野区・八尾市

- ② 国立研究開発法人 国立循環器病研究センターが施行する国立循環器病研究センター建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
明和池遺跡 [調査・整理]	87,846,000	6,100	摂津市

- ③ 国立研究開発法人 国立循環器病研究センターが施行する国立循環器病研究センター建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡 [整理]	46,383,000	0	吹田市

- ④ 西日本高速道路株式会社 関西支社が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
成合地獄谷遺跡 他 [整理]	2,749,000	0	高槻市
千提寺西遺跡 他 [報告書印刷]	1,389,000	0	茨木市

- ⑤ 西日本高速道路株式会社 関西支社、ならびに大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する近畿自動車道名古屋神戸線（補助車線事業）と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（仮称 高槻東道路）事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
磐手杜古墳群 [整理]	(西) 1,311,100	0	高槻市
	(府) 561,900		

- ⑥ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する主要地方道西京高槻線B P道路改良事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
高槻市梶原地区 (契約締結のみ)	0	0	高槻市

- ⑦ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
井尻遺跡(2) [調査]	8,011,000	529	高槻市

- ⑧ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路 梶原工区・側道工区）道路改良事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
梶原西遺跡(2) [調査・整理]	3,035,000	71	高槻市
梶原古墳群(2) [整理]	1,547,000	0	高槻市

- ⑨ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する主要地方道茨木摂津線（都市計画道路大岩線）道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
国見遺跡隣接地 [試掘]	1,968,000	60	茨木市

- ⑩ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡(2) [整理]	2,177,000	0	柏原市
大県郡条里遺跡(3)・山ノ井遺跡(1) [調査・整理]	12,348,000	746	柏原市

- ⑪ 大阪府都市整備部 鳳土木事務所が施行する都市計画道路池上下宮線建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群 [報告書印刷]	426,000	0	和泉市

- ⑫ 大阪府住宅まちづくり部 住宅設計課が施行する大阪府宮瓜破西（第4・5期）住宅（建て替え）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
瓜破北遺跡(4)〔調査〕	71,157,000	3,106	大阪市平野区

- ⑬ 大阪府総務部 庁舎周辺整備課が施行する大阪府庁舎本館耐震改修工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大坂城跡〔調査・整理〕	23,719,000	1,921	大阪市中央区

- ⑭ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構が施行する重粒子線がん治療施設整備運営事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡〔調査・整理〕	121,684,000	854	大阪市中央区

- ⑮ 大阪広域水道企業団事業管理部 東部水道事業所が施行する藤井寺長吉バイパス送水管整備工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
川北遺跡(2)〔調査・整理〕	3,552,000	181	藤井寺市

- ⑯ 大阪外環状鉄道株式会社が施行するJR長瀬・新加美間新駅建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
亀田遺跡〔調査〕	1,804,000	157	東大阪市

- ⑰ 豊中市教育委員会が施行する豊中市立第四中学校校舎建替事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
服部遺跡〔調査・整理〕	60,474,000	1,066	豊中市

- ⑱ 地方独立行政法人 市立吹田市民病院が施行する吹田市新市民病院移転建替事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
吹田操車場遺跡〔調査・整理〕	56,162,000	5,848	吹田市

- ⑱ 近鉄不動産株式会社・大和ハウス工業株式会社・名鉄不動産株式会社 共同企業体（代表企業 近鉄不動産株式会社）が施行する（仮称）摂津市千里丘新町（7街区）中高層住宅建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
明和池遺跡〔調査〕	21,429,000	6,391	摂津市

- ⑳ JR西日本不動産開発株式会社が施行する吹田操車場跡地開発事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡〔調査〕	16,647,000	5,590	吹田市

- ㉑ 吹田ロジスティック特定目的会社が施行する（仮称）GLP吹田 物流施設建設工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
中ノ坪遺跡〔調査〕	22,611,000	7,992	吹田市

- ㉒ 学校法人 関西外国語大学が施行する関西外国語大学新キャンパス建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
禁野本町遺跡〔調査〕	57,961,000	26,974	枚方市

- ㉓ RW4 特定目的会社が施行する大型物流施設建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
津堂遺跡〔調査・整理〕	42,538,000	9,811	藤井寺市

- ㉔ 株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する松原市天美東土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
池内遺跡〔調査〕	16,956,000	11,960	松原市

<調査事業総計>

受託件数	28件	(平成26年度 30件)
委託金額	701,470,000円	(平成26年度 859,973,900円)
調査面積	89,865㎡	(平成26年度 39,384㎡)

(平成22年度 受託件数 33件 調査面積 58,255㎡)

(平成23年度 受託件数 30件 調査面積 73,521㎡)

(平成24年度 受託件数 35件 調査面積 76,041㎡)

(平成25年度 受託件数 32件 調査面積 31,542㎡)

2. 技術支援

大阪府外で実施された下記の埋蔵文化財発掘調査について、調査主体である各法人からの依頼に基づいて職員を出向させ、技術支援を行った。

- ① 公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施する東日本大震災復興関連事業地内の発掘調査 (平成25年度～) 2名
根井沢穴田(ねいさわあなた)IV遺跡・褌帯(ほろたい)遺跡・高根(こうね)遺跡・田鎖車堂前(たくさりくるまどうまえ)遺跡 【宮古市】
中平(なかたい)遺跡・上泉沢遺跡 【九戸郡野田村】
- ② 公益財団法人 かながわ考古学財団が実施する新東名高速道路建設事業地内の発掘調査
西富岡・向畑(にしとみおか・むこうばた)遺跡 【伊勢崎市】 1名
- ③ 公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが実施する伏虎中学校区小中一貫校設置事業地内の発掘調査 (平成25年度～) 1名
鷲ノ森(さぎのもり)遺跡
- ④ 公益財団法人 鳥取県教育文化財団が実施する一般国道9号(鳥取西道路)建設事業地内の発掘調査 (平成21年度～)
大桝(だいかく)遺跡・松原田中遺跡・下坂本清合(せいごう)遺跡 【鳥取市】
4名

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 平成27年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
10月29日	歴史ウォーク 「河内六寺を歩く」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	5	近鉄文化サロンとの共催講座
11月12日	歴史ウォーク「大阪城 400年の歴史を歩く」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	9	近鉄文化サロンとの共催講座
1月25日	昭和史を掘る 「戦争遺跡の考古学」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	12	近鉄文化サロンとの共催講座
1月31日	「吹田操車場遺跡・明和 池遺跡発掘調査報告会」	一般	吹田市立博物館	149	吹田市教育委員会共催、摂津 市教育委員会協力
2月4日	昭和史を掘る 「禁野火薬庫の発掘調査」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	16	近鉄文化サロンとの共催講座
2月25日	「天下の台所」	会員・ 一般	大阪市中央卸売 市場	37	歴史街道推進協議会・近鉄文 化サロン共催
3月1日	「天下の台所」	会員・ 一般	大阪市中央卸売 市場	14	歴史街道推進協議会・近鉄文 化サロン共催
3月3日	昭和史を掘る「八尾空港 周辺における戦争遺跡 －兵舎・弾丸・鉄帽－」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	21	近鉄文化サロンとの共催講座

計 263 名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
5月30日	「高槻市成合地区における 古代の動向－山寺・須恵器 窯・墓をキーワードに－」	研究者	大阪市立男女共 同参画センター	考古学研究会関西例会	30
6月4日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立 女性センター	堺自由の泉大学 「歴史探訪と考古学講座」	27
8月18日	「大坂の陣を掘る」	一般	羽曳野市立陵南 の森公民館	『大坂の陣 400年特別講 座 豊臣大坂城と道明 寺・菅田の合戦』	59
10月6日	「明和池遺跡の調査成果」	一般	摂津市いきいき プラザ	吹田操車場遺跡・明和池 遺跡の保存と活用を考 える市民の会 学習講演会	10

計 126 名

2. 現地説明会・現地公開事業

平成27年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
4月18日	大坂城跡現地説明会	一般	大阪市	772
7月18日	禁野本町遺跡現地説明会	一般	枚方市	317
8月30日	津堂遺跡現地公開	一般	藤井寺市	70
9月12日	明和池遺跡現地公開	一般	摂津市	117
10月9日	服部遺跡現地公開	中学生	豊中市	604
10月10日	服部遺跡現地公開	一般	豊中市	176
12月5日	吹田操車場遺跡現地説明会	一般	吹田市	378
1月16日	池内遺跡現地説明会	一般	松原市	178

計 2,612名

3. 文化財体験学習事業

(1) 子ども向けの体験事業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月5日	「はにわ貯金箱を作ろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	36
8月12日	「手すきハガキをつくろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	33
8月15日	「糸つむぎとまわ たづくり体験」	一般（子ども向け）	近鉄文化サロン 「夏休み特別企画」	7

計 76名

(2) 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
8月3日 ～8月7日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立 今宮高校2年生	瓜破北遺跡ほか	7
10月15日	古代日本史研究旅行 「考古学体験」	東京都私立 和光高校2年生	瓜破北遺跡ほか	25
12月8日	日本の発掘方法	独立行政法人 国際協力機構ジャイカ (JICA) 研修生	吹田操車場遺跡	4

計 36名

(3) 発掘現場等の見学等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
7月31日	土器に触れよう	堅下北小学校 生徒・教師・保護者、ガールスカウト大阪府第16団	大県郡条里遺跡	31	「私の水辺 in 柏原」(大阪府八尾土木事務所主催)

計31名

4. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	備 考
10月31日～ 2月22日	「大園遺跡を語る」	一般	高石市立図書館	下池田遺跡の展示
1月30日～ 2月14日	吹田操車場遺跡・明和池遺跡	一般	吹田市立博物館	「吹田操車場遺跡・明和池遺跡発掘調査報告会」に伴う展示

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報(26年度)を編集した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。平成26年度はより広く小中学生や家族の参加を促すため、7月18日から11月30日の夏休み期間から秋季にかけての期間に設定された。当センターは、パンフレットの編集・作成を担当した。また、大阪府立弥生文化博物館と近つ飛鳥博物館の特別展情報を掲載した。

6. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第21回の平成27年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、(公財)八尾市文化財調査研究会が開催法人となり、平成27年11月27日(金)に開催された。『最新の調査・研究成果』というテーマで13件の研究発表が行われ、当センターからは佐伯博光が「大坂城跡出土石材について」と題して発表を行った。

7. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

- ① 平成27年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	245冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,538冊
計	1,783冊
累計	89,343冊

- ② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。
蔵書データベースは総計85,190レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

- ① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

貸出先	展覧会名等	出品資料
大阪府立 近つ飛鳥博物館	「馬がやってきたころ —古墳時代の文明開化—」	瓜生堂遺跡、小阪遺跡、伏尾遺跡、 大庭寺遺跡、小阪合遺跡、大和川今 池遺跡、志紀遺跡、上私部遺跡、茄 子作遺跡、三宅西遺跡、讃良郡条里 遺跡、高宮遺跡、私部南遺跡：須恵 器、鞍、鐙、埴輪、鉄鏃ほか
鈴鹿市立考古博物館	「黄金に輝く—信長・秀吉の瓦—」	大坂城跡：瓦ほか
高槻市立 しろあと歴史館	「大阪の修験と西方浄土 ～神峯・葛城山と日想観の山寺～」	成合遺跡、成合地獄谷遺跡、金龍寺 旧境内跡：灰釉陶器、狻猊双鸞八花 鏡、巡方ほか
下関市立考古博物館	「綾羅木遺跡とその時代 —環濠集落 事初め—」	亀井遺跡：石器、磨石
和歌山県立 紀伊風土記の丘	「紀伊の地、大いに震う ～考古学から南海地震を追う～」	下田遺跡、田井中遺跡、瓜生堂遺跡、 久宝寺遺跡：弥生土器、瓦器柄ほか
徳島市立考古資料館	「FACE—表情の考古学—」	仏並遺跡、亀井遺跡：土製仮面、 辟邪紋土器ほか
四條畷市立 歴史民俗資料館	「馬のいななきと王の光」	讃良郡条里遺跡：木製鞍
静岡市立登呂博物館	「登呂のいす展」	新家遺跡、瓜生堂遺跡、久宝寺北遺 跡、巨摩遺跡：木製腰掛座板ほか
大阪府立 近つ飛鳥博物館	「ワカタケル大王の時代 —ヤマト王権の成熟と革新—」	太秦古墳群、長原古墳群：須恵器、 埴輪

大分市歴史資料館	「日本犬聞録－イヌと人の歴史－」	亀井遺跡、大坂城跡：イヌ頭蓋骨、犬型土製品
高浜市やきものの里 かわら美術館	「安土・桃山の城郭革命 －信長・秀吉・家康と金箔瓦－」	大坂城跡：瓦、陶器ほか
堺市立 みはら歴史博物館	「河内鑄物師の誇りⅡ －梵鐘づくりの名人たち－」	真福寺遺跡、徳大寺遺跡：鑄型、瓦器椀ほか
旧新橋停車場 鉄道歴史展示室	「駅弁むかし物語－お弁当にお茶－」	吹田操車場遺跡：うなぎ井蓋身、御吸物入
大阪府立 弥生文化博物館	「海の王都。原の辻遺跡と壱岐の至宝 ～『魏志』倭人伝、一支国の世界～」	八尾南遺跡：絵画土器
松山市考古館	「あつまれ！古代のかお」	仏並遺跡：土製仮面
大阪府立 近つ飛鳥博物館	「歴史発掘おおさか 2015 －大阪府発掘調査最新情報－」	梶原古墳群、成合遺跡、成合地獄谷遺跡、井尻遺跡、大坂城跡、伯太藩陣屋跡、太井遺跡：須恵器、鏡、鉄釘、青磁碗、備前鉢、瓦、陶器、埴輪ほか
泉南市埋蔵文化財 センター	「泉南市は世界的なタコ壺のまち展」	男里遺跡：たこ壺

等 21 件

計

427 点

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館い
ずみさの、和泉市立いずみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、
太子町立竹内街道歴史資料館、舞鶴市立赤れんが博物館

計 10 件 277 点

③ 写真資料の貸出

行政機関の他、出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、鈴鹿市立考古博物館、高槻市立しろあと歴史
館、下関市立考古博物館、和歌山県立紀伊風土記の丘、徳島市立考古資料館、四條畷市立歴史民俗
資料館、静岡市立登呂博物館、大分市歴史資料館、高浜市やきものの里かわら美術館、堺市立みは
ら歴史博物館、旧新橋停車場鉄道歴史展示室、柏原市立歴史資料館、八尾市立埋蔵文化財調査セン
ター、新潟市文化財センター、越前町織田文化歴史館、松原市、一般社団法人京都馬主協会、堺市、
尼崎市立田能資料館、考古学協会、UR 都市再生機構、戎光祥出版、帝国書院、イカロス出版、クバ
プロ、青幻舎、新日本出版、NHK 出版、小学館、ジャパン通信、昭文社、丸善出版、洋泉社、等出
版社、他テレビ局等

計 60 件 199 点

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売

① 図書の出版

平成 27 年度、下記の図書を出版した。

- 1 「千提寺西遺跡・日奈戸遺跡・千提寺市阪遺跡・千提寺クルス山遺跡」 第256集
- 2 「伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群」 第257集
- 3 「大県郡条里遺跡2」 第258集
- 4 「梶原古墳群」 第259集
- 5 「成合地獄谷遺跡 成合遺跡2 金龍寺旧境内跡3」 第260集
- 6 「梶原西遺跡」 第261集
- 7 「吹田操車場遺跡11」 第262集
- 8 「磐手杜古墳群」 第263集
- 9 「川北遺跡2」 第264集
- 10 「大坂城跡6」 第265集
- 11 「服部遺跡」 第266集
- 12 「年報 平成24年度」
- 13 「年報 平成25年度」
- 14 「大阪文化財研究 第47号」
- 15 「芹生谷遺跡V」
- 16 「長原遺跡V」
- 17 「加治・神前・畠中遺跡」
- 18 「上垣内遺跡」
- 19 「大県遺跡・東高野街道」
- 20 「久宝寺遺跡」
- 21 「桜塚古墳群」
- 22 「大阪府教育委員会文化財調査事務所年報19」

※15 から 22 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

平成27年度、次のとおり販売した。

販売総数 749冊

9. 保存処理事業

(1) 平成27年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	200点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	200点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	100点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
大坂城跡4	木製品	PEG-FD処理	100点
大坂城址Ⅲ	木製品	PEG-FD処理	150点
私部南遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点

玉櫛遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
池島福万寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	20点
茄子作遺跡	木製品	PEG-FD処理	30点
大坂城跡4	金属遺物	アクリル樹脂処理	10点
成合地獄谷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	100点
千提寺西遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	600点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	3000点
吹田操車場遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱

PEG:ポリエチレングリコール FD:真空凍結乾燥を示す。

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米つくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「弥生人」、「交流」、「死とまつり」の6つのテーマゾーン、鏡を掲げ持つ卑弥呼像を中心に、卑弥呼の時代前後の鏡と卑弥呼ゆかりの復元品を展示するシンボルゾーンの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

なお、展示室前の「弥生プラザ」は、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土し、注目される資料を展示するコーナーである。

<弥生プラザ展示>

「西を向くムラ、東を向くムラー和泉における“卑弥呼”の時代の外来系土器ー」

平成28年1月16日(土)～平成28年6月26日(日) <予定>

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」と題して、国史跡池上曾根遺跡から出土した資料を展示し、博物館周辺の弥生遺跡マップを設置している。

2. 特展企画展事業

(1) 春季特別展「卑弥呼ー女王創出の現象学ー」

【入館者数：13,140名 231名/日】

ア. 開催概要 平成27年3月、「卑弥呼と出会う博物館」としてリニューアルしたことを記念し、古代史上最大の謎ともいえる倭国女王、卑弥呼に再び挑んだ。発掘成果も増え、新たな研究が数多くなされたこの20年、卑弥呼を取り巻く社会の解明は劇的に進んだ。各地の巨大遺跡、王墓に副葬された青銅鏡、新たに誕生した土器、変化する祭りなど考古資料は謎の女王の姿をどのように照らすのだろうか？卑弥呼がなぜ時代や社会に必要とされ、女王として共立されたのか。卑弥呼にまつわる鏡など約300点の資料を通じ、大きな変化を迎えつつあった社会状況を探った。

イ. 開催期間 平成27年5月1日(金)～7月5日(日)

【会期：57日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

5月2日(土) 92名、5月23日(土) 54名、5月30日(土) 78名、

6月13日(土) 83名、6月27日(土) 91名

【参加者数：計398名】

(2) 夏季企画展「とんぼ玉100人展」

【入館者数：11,201名 189名/日】

ア. 開催概要 ガラス工芸のなかでも、ひととき繊細な輝きを放つとんぼ玉。瑞瑞しく彩り豊かな小宇宙をガラスの中に表現した、現代作家たちの作品を展示した。

イ. 開催期間 平成27年7月18日(土)～9月23日(水祝) 【会期:59日間】

(3) 秋季特別展 「海を見つめた縄文人—放生津潟とヒスイ海岸—」 【入館者数:14,136名 283名/日】

ア. 開催概要 日本海に面した富山県では、縄文時代前期より貝塚が形成され、潟湖を舞台とした縄文人の暮らしが営まれてきた。北陸新幹線の開通工事に伴って発掘された富山県の小竹貝塚では、列島最多となる90体以上もの前期人骨がみつき、さまざまな埋葬のあり方を示すきわめて重要な調査成果が得られている。また、出土人骨について国立科学博物館が行なった調査では、縄文人の顔かたちや、生活習慣、病歴までが復元されたほか、DNAの分析から、日本人のルーツを解明する上での新知見が得られている。小竹貝塚のほかに、北代遺跡・境A遺跡を取り上げ、北陸の縄文文化の高い技術や芸術性にふれるとともに、日本海に躍動する縄文人のすがたに迫った。

イ. 開催期間 平成27年10月10日(土)～12月6日(日) 【会期:50日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

10月18日(日)31名、10月24日(土)77名、11月3日(火祝)67名、

11月7日(土)48名、11月8日(日)33名、11月15日(土)83名、

11月28日(土)44名、12月5日(土)67名

【参加者数:合計450名】

(4) 冬季企画展 「海の王都・原の辻遺跡と壱岐の至宝—『魏志』倭人伝、一支国の世界—」

【入館者数:7,980名 148名/日】

ア. 開催概要 玄界灘にうかぶ壱岐島は、新しい文物を受け入れる列島の窓口として独自の文化を育んできた。『魏志』倭人伝の一支国王都である原の辻遺跡や、カラカミ・車出遺跡は弥生時代の集落遺跡を代表するもの。また、古墳時代には「古墳の島」と称されるほど大型墳墓が集中し、豪華な品々が副葬された。考古資料を中心に、壱岐の魅力あふれる歴史を壱岐市立一支国博物館との共催により展示した。

イ. 開催期間 平成27年12月15日(火)～平成28年2月21日(日) 【会期:54日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

12月19日(土)60名、1月16日(土)38名、2月6日(土)72名、

2月13日(土)48名

【参加者数:合計218名】

(5) その他展示事業

① 平成26年度冬季企画展 「河内の美・技・心—考古学研究と船橋遺跡—」

【入館者数:4,097名 241名/日】

ア. 開催概要 大和川の河床に散らばるたくさんの土器が発見されたのは、20世紀前半のこと。大阪府の

柏原市と藤井寺市にまたがるこの地点は船橋遺跡と呼ばれるようになり、その後の探索や発掘によって、旧石器時代から室町時代までの多種多様な遺物が良好な状態でみつかった。本展では、当館が所蔵する船橋遺跡の資料を中心に、船橋遺跡の学史的意義やそこに生きた人々の「美・技・心」に迫った。

イ. 開催期間 平成 27 年 1 月 24 日 (土) ～4 月 19 日 (日) 【会期：17 日間】

※入館者数・会期日数は、本年度分 (4/1～19) のみの集計。

ウ. 印刷物 図録

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

4 月 4 日 (土) 25 名、4 月 18 日 (土) 28 名 【参加者数：合計 53 名】

② スポット展示「川べりの弥生人のくらしー解明できた弥生後期集落 明和池遺跡ー」

【観覧者数：4,950 名】

ア. 開催概要 大阪府摂津市で発掘された、弥生時代後期の集落である明和池遺跡の調査成果を紹介した。

イ. 開催期間 平成 27 年 6 月 16 日 (火) ～7 月 12 日 (日) 【会期：24 日間】

ウ. 場 所 2 階特別展示室前

③ 第 4 回大阪・滋賀博物館連携企画 コーナー展示「近江の玉と弥生」

【観覧者数：11,201 名 190 名/日】

ア. 開催概要 当館と滋賀県立安土城考古博物館は、相互の集客、サービス向上のため、夏季企画展期間中に各館の所蔵資料を交換し、展示する「コーナー展示」を実施。さらに連携して、職員を相互の館に派遣し、講座等を開催した。

イ. 開催期間 平成 27 年 7 月 18 日 (土) ～9 月 23 日 (水祝) 【会期：59 日間】

ウ. 開催場所 2 階 第 1 常設展示室前

エ. 印刷物 リーフレット

④ ミュージアムギャラリー「創作展いずみ」

【入館者数：2,286 名 114 名/日】

ア. 開催概要 地元和泉市において文化活動に取り組んでいる和泉市文化協会の美術 11 部の会員の作品展。市民をはじめ多くの方々に美術作品を鑑賞していただき、地域に開かれ親しまれる博物館としての役割を果たした。

イ. 開催期間 平成 28 年 2 月 28 日 (日) ～3 月 21 日 (月祝) 【会期：20 日間】

ウ. 開催場所 特別展示室 サロン

エ. 印刷物 出品目録

3. 講演会事業等

(1) 平成 26 年度冬季企画展「河内の美・技・心」関連

① 考古学セミナー

4 月 4 日 (土) 「古代人の技ー帯金具の研究と船橋遺跡ー」

【参加者数：145 名】

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

4月18日(土)「仏教の美・技・心—寺院・屋瓦の研究と船橋遺跡(廃寺)—」 【参加者数:162名】

藤井寺市教育委員会教育部文化財保護課課長 上田 睦

(2) 春季特別展「卑弥呼—女王創出の現象学—」関連

① 考古学セミナー

5月2日(土)「卑弥呼と鬼道と」 【参加者数:277名】

当館館長 黒崎 直

5月23日(土)「卑弥呼の鏡—鏡研究の現状—」 【参加者数:296名】

大手前大学総合文化学部教授 森下章司

5月30日(土)「ヤマト国の形成と倭の国家形成の特質としての卑弥呼共立」 【参加者数:332名】

大阪市立大学文学部准教授 岸本直文

6月13日(土)「伊都国、平原王墓の謎にせまる」 【参加者数:346名】

糸島市伊都国歴史博物館学芸員 岡部裕俊

6月27日(土) 「『三国志』からみた卑弥呼」 【参加者数:320名】

早稲田大学文学学術院教授 渡邊義浩

② 関連ワークショップ

6月7日(日) 「『卑弥呼』の鏡を鑄造しよう！」 【参加者数:86名】

③ 開催記念特別公演(国際博物館の日2015 関連事業)

5月10日(日) ミュージカル「卑弥呼夢がたり」 【参加者数:112名】

出演:山の辺ミュージカルの会、協力:天理市産業振興課

(3) 夏季企画展「とんぼ玉100人展」関連

① とんぼ玉制作実演

8月2日(土) 「平たい形のとんぼ玉の基礎」 【参加者数:53名】

東 真由子

8月8日(土) 「パーツ制作」 【参加者数:67名】

竹内大祐

8月9日(日) 「楽しいパーナーワーク」 【参加者数:63名】

増井敏雅

9月6日(日) 「立体的な玉、人面と花」 【参加者数:61名】

城下鮎子

② 関連ワークショップ とんぼ玉制作体験

7月26日(日) 54名、8月23日(日) 54名、8月30日(日) 54名、9月21日(月祝) 58名

【参加者数:220名】

(4) 秋季特別展「海を見つめた縄文人－放生津潟とヒスイ海岸－」関連

① 考古学セミナー

- 10月24日(土)「埋もれた海と縄文人」 【参加者数：192名】
公益財団法人富山県文化財振興財団主任 町田賢一
- 11月7日(土)「よみがえる縄文人－縄文人骨が語るもの－」 【参加者数：209名】
独立行政法人国立科学博物館人類研究部研究主幹 坂上和弘
- 11月15日(日)「ヒスイ海岸の縄文人」 【参加者数：211名】
富山県埋蔵文化財センター元所長 山本正敏
- 12月5日(土)「縄文人を支えた食－見えてきた生業戦略－」 【参加者数：244名】
京都大学大学院総合生存学館特定教授 泉 拓良

② 関連ワークショップ

- 10月17日(土)「縄文人の技術に挑め!『石器作りワークショップ』」 【参加者数：9名】
- 10月24日(土)「チリモンを探せ!」 【参加者数：72名】

(5) 冬季企画展「海の王都・原の辻遺跡と壱岐の至宝－『魏志』倭人伝、一支国の世界－」関連

① 考古学セミナー

- 12月19日(土)「魏志倭人伝に記された一支国の世界」 【参加者数：196名】
壱岐市立一支国博物館(壱岐市教育委員会)学芸員 松見裕二
- 1月16日(土)「倭人伝・一支国の朝鮮系無文土器と近畿」 【参加者数：238名】
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- 2月6日(土)「壱岐の古墳文化」 【参加者数：396名】
壱岐市立一支国博物館(壱岐市教育委員会)学芸員 田中聡一
- 2月13日(土)「壱岐から見える東夷社会の発展」 【参加者数：253名】
大阪歴史博物館主任学芸員 寺井 誠

② 関連ワークショップ 1月17日(日)

- 「ガラス玉づくり体験」(一支国博物館) 【参加者数：35名】
- 「勾玉づくり体験」(一支国博物館) 【参加者数：55名】
- 「凧づくり&凧あげ体験」(一支国博物館) 【参加者数：30名】
- 「貝殻キャンドルづくり体験」(一支国博物館) 【参加者数：105名】
- 「考古学カードかるた大会!」 【参加者数：26名】
- 「考古学カードバトル大会!」 【参加者数：53名】
- 「土器・銅鐸パズル」 【参加者数：86名】
- 「石器体験」 【参加者数：93名】

(6) スポット展示「川べりの弥生人の暮らし」関連

- 講演会&ミニシンポジウム 7月11日(土) 【参加者数：117名】
- 講演①「明和池遺跡の弥生集落発掘」大阪府文化財センター 鹿野 壘

講演②「摂津市の文化財」摂津市教育委員会 八田邦敏

講演③「弥生時代における集落と墓の関係」当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

討論 鹿野 塁・八田邦敏・秋山浩三・瀬尾晶太(当館学芸員)

(7) コーナー展示「近江の玉と弥生」関連

講演会 8月15日(土)「出土遺物からみる弥生・古墳のガラス、玉、アクセサリ」【参加者数：99名】

滋賀県立安土城考古博物館学芸課長 細川修平

ミニシンポジウム 9月12日(土)

【参加者数：101名】

講座①「大中の湖南遺跡 木器研究の歩み」当館館長 黒崎 直

講座②「近江の木製品ー弥生・古墳の農工具を中心にー」

滋賀県埋蔵文化財センター 阿刀弘史

シンポジウム「木製品を語りつくす」パネリスト：阿刀弘史・黒崎 直

コーディネーター：当館総括学芸員 塚本浩司

(8) 弥生時代講座 聞いてなっとく弥生の世界(近畿弥生の会との共催)

6月6日(土)「弥生土器から土師器へ」

(独法) 国立文化財機構奈良文化財研究所アソシエイトフェロー 山本 亮

【参加者数：103名】

8月22日(土)「水田灌漑システムからみた弥生・古墳時代の社会」

(公財) 大阪市博物館協会大阪文化財研究所調査課主任学芸員 大庭重信

【参加者数：89名】

11月28日(土)「古墳出現前後の“前方後円墳”」

桜井市教育委員会文化財課主任 福辻 淳

【参加者数：134名】

2月20日(土)「集落から見た弥生時代の終わり」と古墳時代のはじまり」

大阪府教育委員会文化財保護課副主査 三好 玄

【参加者数：90名】

【4回参加者数 計416名】

(9) 弥生博 木曜大学

前半講義テーマ「〈弥生〉の発見・研究から〜」

講師 当館副館長 秋山浩三

6月4日(木)「〈弥生時代〉の発見ー弥生町遺跡(東京)」

【参加者数：170名】

6月11日(木)「列島最古の弥生農村ー板付遺跡(福岡)」

【参加者数：179名】

6月18日(木)「南国土佐から問う弥生時代像ー田村遺跡(高知)」

【参加者数：170名】

7月2日(木)「海と山の弥生王国ー妻木晩田遺跡(鳥取)」

【参加者数：210名】

7月9日(木)「弥生大型建物の意味を問うー加茂遺跡(兵庫)」

【参加者数：194名】

7月16日(木)「〈倭国乱〉と高地性集落論ー観音寺山遺跡(大阪)」

【参加者数：167名】

8月6日(木)「東西弥生文化の結末点ー朝日遺跡(愛知)」

【参加者数：195名】

- 8月13日(木)「古代出雲の原像をさぐるー荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡(島根)」【参加者数:265名】
- 8月20日(木)「珈琲ブレイク:私がかかわったビッグネーム弥生遺跡
ー楯築墳丘墓(岡山)・池上曾根遺跡(大阪)・瓜生堂遺跡(同)、などなど」【参加者数:204名】
- 後半講義テーマ「〜<邪馬台国>卑弥呼の人生>まで」
- 講師 当館館長 黒崎 直(◇印)、当館副館長 秋山浩三(◇印以外)
- ◇10月1日(木)「弥生水田の発見とその後ー登呂遺跡(静岡)」【参加者数:192名】
- ◇10月8日(木)「大発見<埋没住居>!?ー古照遺跡(愛知)」【参加者数:181名】
- 10月15日(木)「最古の弥生王墓ー吉武高木遺跡(福岡)」【参加者数:227名】
- ◇11月5日(木)「巨大銅鏡と眠る伊都国王ー平原遺跡(福岡)」【参加者数:216名】
- 11月12日(木)「魏志倭人伝・一支国の世界ー原の辻遺跡(長崎)」【参加者数:244名】
- 11月19日(木)「邪馬台国が見えだした巨大集落ー吉野ヶ里遺跡(佐賀)」【参加者数:245名】
- 12月3日(木)「若き卑弥呼の面影を想うー唐古・鍵遺跡(奈良)」【参加者数:283名】
- 12月10日(木)「倭国王・卑弥呼の日々を求めてー纏向遺跡そして箸墓古墳(奈良)」
【参加者数:265名】
- ◇12月17日(木)「全国の弥生史跡公園探訪ー史跡指定の内輪ばなし??」【参加者数:171名】

(10) 若き考古学徒、論壇デビュー!

- 第1回 1月23日(土) 【参加者数:70名】
「六甲南麓地域から考える弥生時代の社会変動」大阪市立大学文学部4回生 左海航平
「弥生時代後期の集落形成ー集落内に所在する竪穴建物を対象にー」
関西大学大学院文学研究科博士課程前期課程2年次 上田裕人
- 第2回 2月27日(土) 【参加者数:67名】
「古代エジプトにおけるアメジストの使用目的に関する考察」
近畿大学大学院文芸学研究科国際文化専攻修士課程2年 小林実加
「古代宮都における倉庫の位置ー前期難波宮を中心にー」
関西大学大学院文学研究科博士課程前期課程2年次 鮫島えりな
- 第3回 3月19日(土) 【参加者数:76名】
「埴輪製作工人の移動ー遺跡間で見られる同工の埴輪についてー」
大阪大学大学院文学研究科博士前期課程1年 内藤元太
「高松塚・キトラ古墳と唐代壁画墓の関係」
関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程2年次 周 吟

(11) 弥生フェスティバル連続講演会 「奇跡の発見!松帆銅鐸」

- 3月23日(水)「銅鐸研究における松帆銅鐸発見の意義」【参加者数:205名】
奈良文化財研究所 難波洋三
- 3月24日(木)「松帆銅鐸と淡路島」【参加者数:176名】
あわじ市教育委員会 定松佳重

3月29日(火)「東奈良遺跡の鋳型から松帆銅鐸を考える」 【参加者数：195名】

茨木市教育委員会 正岡大実

3月30日(水)「唐古・鍵遺跡の青銅器鋳型と鋳造された銅鐸」 【参加者数：141名】

田原本町教育委員会 藤田三郎

(12) その他

① 6月19日(金)「ブルガリア 文明の十字路を掘る！」 【参加者数：119名】

特別講演会 ブルガリア科学アカデミー上級研究員 ディアナ・ゲルゴヴァ

基調報告 東海大学非常勤講師 田尾誠敏

② 11月3日(火祝)文化の日特別講演会「縄文稲作はあったのか？」 【参加者数：191名】

東京大学大学院人文社会系研究科教授 設楽博己

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員：西川光子(ピアノ)、稲本直(コンサート企画)、田中寛治(社会教育)

4月12日(日)「the 300th anniversary concert Swing!Sing!Spring Concert!!」 【参加者数：235名】

URBAN NOTES Big Band with 西脇千花

4月26日(日)「箏・三絃・尺八による春爛漫コンサート」 【参加者数：173名】

邦楽合奏団「地湧」

5月24日(日)「音の絵葉書～サクセス&ピアノユニット『ティーモ』コンサート～」 【参加者数：207名】

Timo (ティーモ/中地聖子・竿下和美)

6月21日(日)「フルートカルテットの魅力」 【参加者数：212名】

Rupinus (ルピナス/大友美果・窪田香織・坂田愛夏・森香緒里)

6月28日(日)「音楽物語～ラブストーリー～」 【参加者数：226名】

大城梨花・大城杏花

7月5日(日)「SONG Piano Duoによる調和のひととき」 【参加者数：248名】

宋和純&宋和映ピアノデュオ

7月19日(日)「ピアノフォルテコンサート～お話と音楽のハーモニー～」 【参加者数：242名】

ピアノフォルテ(中村かおり・小椋満子・中筋知子・林聡子・狩山麻子)

8月16日(日)「みんなで楽しくオカリナアンサンブル～大人も子どもも一緒に楽しもう!～」

オカリナアンサンブル『ぴくにつく』 【参加者数：198名】

9月5日(土)トワイライトコンサート「紀之定淳規、渡邊由美子ジョイントコンサート～薔薇の愛、桜の恋～」

紀之定淳規・渡邊由美子・岩城智由理 【参加者数：137名】

9月13日(日)「ヴァイオリンとハープで紡ぐ秋」 【参加者数：274名】

佐々木美香・農頭奈緒

9月20日(日)「インドへの風～南インド古典舞踊バラタナティヤム～」 インド舞踊スタジオ プラーチー	【参加者数：186名】
9月27日(日)「秋のしらべ～世界を旅するコンサート～」 大槻知世	【参加者数：192名】
10月18日(日)「お城へようこそ！～Part. II～」 オペラティックトリオ(村田紀子・小島百合子・林典子)	【参加者数：168名】
11月8日(日)「フランスに生きた作曲家たち」 小林響子	【参加者数：182名】
11月22日(日)2台のピアノによるコンサート「My Favorite Things」Piano!×Piano! 佐々木美絵・武田友子・豊田佳代子・吉田薫・仲西洋子	【参加者数：229名】
12月6日(日)「印象派 フランス音楽コンサート」 埴美里・谿博子	【参加者数：236名】
12月13日(日)「フルート・クラリネット・ピアノで紡ぐ魔法の音符♪♪♪」 深江亮太・島田香・植田祐加里	【参加者数：134名】
12月20日(日)「天使の響き～ハンドベルコンサート～」 ドリーム21ハンドベル教室	【参加者数：168名】
1月10日(日)「慶び兆す、明けの春の津軽三味線」 亀谷英明・亀谷達也・亀谷千香子・亀甲会社中	【参加者数：395名】
2月7日(日)「古典KOTENー博物館で聴くピアノコンチェルトー」 アンサンブル大阪	【参加者数：307名】
2月14日(日)「ソロ&デュオ ピアノの調べ」 山崎真・尾吉真人	【参加者数：211名】
2月28日(日)「日本人作曲家の魅力～波戸岡美紗ピアノリサイタル～」 波戸岡美紗	【参加者数：168名】
3月13日(日)「ギター・ルネサンス」 佐久間優	【参加者数：254名】
3月20日(日)「大阪室内楽倶楽部と癒しのひととき」 大阪室内楽倶楽部	【参加者数：232名】

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

- ① 6月2日(火)～6月14日(日)「糸島市観光パネル展」
6月13日(土) 糸島市観光パネル展ギャラリートーク
【入館者数：2,684名】
- ② 7月7日(火)～7月16日(木)「オカリナの世界ー古代と現代の音色ー」
7月12日(日) 野田佳子さんによるオカリナ制作教室「MYオカリナをつくろう♪」
【参加者数：16名】
- ③ 8月18日(火)～8月30日(日)「のぞいてみよう ムシの世界」
【入館者数：2,730名】

(共催：伊丹市昆虫館・きしわだ自然資料館、協力：NPO 法人いずみの国の自然館クラブ)

④ 9月29日(火)～10月12日(月祝)「みんなで楽しく きりえの時間展」 【入館者数：1,472名】

⑤ 11月25日(水)～12月5日(土) 三田崇博 世界遺産写真展「アジアの遺産Ⅱ」

【入館者数：1,951名】

11月29日(日) トークイベント「アジアの世界遺産を巡る」三田崇博

【参加者数：52名】

(3) 第20回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品を当博物館エントランスホールで8月1日(土)から8月15日(土)まで展示した。 【入館者数：2,511名】

審査員：小灘一紀(画家・日展評議員)、石橋敏彦(泉大津市立条南小学校校長)

① 応募期間：5月26日(火)～6月28日(日)

② 応募点数：159点

③ 表彰式：8月1日(土)

金賞「月夜の銅鏡」別府愛理(神戸市立丸山小学校6年)

金賞「弥生時代の午後のひととき」浦山裕月(堺市立福泉小学校6年)

銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入賞71点

(4) ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡回、出前授業補助、書庫整理、障がい者来館補助、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数：138日 協力者数：232名】

4月 道具作り、展示室巡視、土器・銅鐸パズル、出前授業補助、子どもFD(脱穀体験)

【活動日数：19日 協力者数：35名】

5月 道具作り、展示室巡視、土器・銅鐸パズル、出前授業補助、子どもFD(石器体験)、

出張ワークショップ補助

【活動日数：11日 協力者数：20名】

6月 道具作り、展示室巡回、土器・銅鐸パズル、子どもFD(弓矢体験)、広報活動補助、出前授業補助、

出張ワークショップ補助、館内ワークショップ補助

【活動日数：22日 協力者数：30名】

7月 道具作り、土器・銅鐸パズル、子どもFD(火おこし)、絵画コンテスト審査準備、広報活動補助

【活動日数：6日 協力者数：11名】

8月 土器・銅鐸パズル、子どもFD(鳥形紙ひこうき)、館内ワークショップ補助、出前授業補助、

広報活動補助、道具作り、出張ワークショップ補助

【活動日数：9日 協力者数：14名】

9月 土器・銅鐸パズル、館内ワークショップ補助、広報活動補助、子どもFD(土器をさわろう)

出張ワークショップ補助

【活動日数：9日 協力者数：11名】

10月 道具作り、土器・銅鐸パズル、館内ワークショップ補助、展示室巡回、子どもFD(米つき体験)

出前授業補助、広報活動補助

【活動日数：13日 協力者数：20名】

11月 道具作り、土器・銅鐸パズル、子どもFD(石器体験)、館内ワークショップ補助、出前授業補助、

関西文化の日ワークショップ

【活動日数：10日 協力者数：20名】

12月 道具作り、土器・銅鐸パズル、子どもFD(弓矢体験)、出前授業補助

【活動日数：10日 協力者数：22名】

1月 道具作り、子どもFD（火おこし）、冬季企画展ワークショップ補助、土器・銅鐸パズル、
出前授業補助、広報活動補助

【活動日数：11日 協力者数：21名】

2月 土器・銅鐸パズル、子どもFD（土器にふれてみよう）、広報活動補助、出前授業補助、
団体利用案内準備補助

【活動日数：10日 協力者数：15名】

3月 道具作り、土器・銅鐸パズル、子どもFD（火おこし）、ボランティア活動総括の会、
弥生フェスティバルワークショップ

【活動日数：8日 協力者数：13名】

＜ボランティア活動の内容＞

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

出前授業補助ボランティア：出前授業でのスタッフ補助

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上に8種類のワークシートを用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。

【入館者数：7,576名】

＜堺市＞東三国丘小学校、三国丘小学校、深井西小学校、深井小学校、鳳小学校、安井小学校、上野芝小学校、原山台小学校、浜寺昭和小学校、浜寺小学校、浅香山小学校、神石小学校、日置荘小学校、南八下小学校、錦西小学校、福田小学校、桃山台小学校、市小学校、浜寺石津小学校、府立堺聴覚支援学校

＜和泉市＞国府小学校、幸小学校、黒鳥小学校、光明台北小学校、南松尾小学校、青葉はつが野小学校、和気小学校、鶴山台南小学校、鶴山台北小学校、横山小学校、伯太小学校、芦部小学校、信太小学校、府立和泉支援学校小学部

＜泉大津市＞楠木小学校、浜小学校、上條小学校、穴師小学校、条東小学校

＜高石市＞高陽小学校、取石小学校、高石小学校、羽衣小学校、清高小学校

＜忠岡町＞忠岡小学校、東忠岡小学校

＜岸和田市＞新条小学校、太田小学校、常磐小学校、東葛城小学校

＜泉佐野市＞大木小学校、上之郷小学校

＜泉南市＞新家小学校、新家東小学校、東小学校

＜大阪市＞依羅小学校、新平野西小学校、生野小学校、岸里小学校、聴覚特別支援学校、玉出小学校、弁天小学校、小林小学校、歌島小学校、生野南小学校、喜連小学校、安立小学校、鶴町小学校、住之江小学校、遠里小野小学校、泉尾北小学校、長居小学校、南港光小学校、喜連西小学校、福島小学校、荻田北小学校、天王寺小学校、山之内小学校、千本小学校、南住吉小学校、南市岡小学校、上福島小学校、栄小学校、平林小学校、成育小学校、府立生野聴覚支援学校

＜守口市＞下島小学校

＜東大阪市＞長瀬南小学校

＜松原市＞天美南小学校、松原南小学校、松原北小学校

＜羽曳野市＞古市小学校

＜八尾市＞美園小学校

＜和歌山県和歌山市＞名草小学校、西佐和小学校、鳴滝小学校、四箇郷北小学校、大新小学校、
楠見西小学校

＜和歌山県橋本市＞柱本小学校

＜和歌山県海南市＞大東小学校

＜京都府京田辺市＞田辺小学校

＜福井県小浜市＞西津小学校

＜私立＞仁川学院小学校、建国小学校、近畿大学附属小学校

(2) 大学・高等学校、中学校等の見学受け入れ

小学校以外に大学、高等学校、中学校、その他団体を受け入れ、学芸員や教育専門員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。 【入館者数：1,977名】

① 大学・高等学校・中学校等

府立堺聴覚支援学校（高等部）、松原市立松原第二中学校、阪南市立飯の峯中学校、大阪市立上町中学校、大阪市立蒲生中学校、大阪府立和泉支援学校（中学部）、大阪府立佐野支援学校（中学部）、紀の川市立貴志川中学校、和泉市立富秋中学校（研修会）

② その他団体

和泉市立国府第二保育園、和泉市立国府第一保育園、和泉市立芦部保育園、鶴山台第一・第二保育園、若松台小学校 堺っ子クラブ、阿倍野区阪南連合子ども会、舞鶴市福来コミュニティセンター、子ども観光大使（TOSS 天満）、総合進学塾 KGC、池上曾根弥生学習館、和泉市文化財活性化推進委員会（和泉市教育委員会）、東大阪市立埋蔵文化財センター、堺市美原区役所、紀の川市教育委員会生涯学習課、吹田市立博物館ボランティアの会、高槻市安満遺跡公園準備室、泉州・紀北ミュージアムネットワーク、日本ミュージアムマネージメント学会、箕面市文化財愛好会、和泉観光ボランティアクラブ、大阪府高齢者大学、青葉台青友会・郷土歴史研究会、シニア自然大学校、堺自由の泉大学歴史探訪・考古学フラワー講座、年輪大学、奈良歴史ウォークの会、（公財）関西・大阪 21 世紀協会、（地独）大阪府立病院機構母子保健総合医療センター、（社福）障友会堺みなみ、あすなる草部の郷、コスモス会、デイサービスセンター市民との絆、弥生俳句の会、三重中央開発株式会社、関西電機管理技術者協会、鶴山台一丁目自治会

(3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

4月2日（木） 17校

【参加者：51名】

4月3日（金） 23校

【参加者：73名】

(4) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

【利用者数：4,802名・168回】

(5) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。

【実績：3,427名・146回】

〈堺市〉福泉東小学校、深阪小学校、浜寺東小学校、庭代台小学校、茶山台小学校、土師小学校、南八下小学校、上神谷小学校、浜寺石津小学校、市小学校、美原台小学校、日置荘西小学校

〈泉大津市〉戎小学校、旭小学校、楠小学校

〈和泉市〉鶴山台小学校、府立和泉支援学校、小学校社会科部会、みなまつ保育園

〈岸和田市〉常磐小学校

〈高石市〉清高小学校

〈豊中市〉桜井谷東小学校

〈池田市〉呉服小学校

〈茨木市〉学童保育けいあいの舎

〈大阪市〉小林小学校、千本小学校、歌島小学校、北中島小学校、弁天小学校、大成小学校、南田辺小学校、新庄小学校、宮原小学校、西淀川特別支援学校（高等部）、栄小学校、東中川小学校、福小学校、榎並小学校

〈枚方市〉枚方第二小学校、川越小学校、菅原小学校

〈八尾市〉大正北小学校、美園小学校

〈松原市〉天美南小学校、松原小学校

〈羽曳野市〉古市南小学校、埴生南放課後子ども教室、丹比放課後教室

〈東大阪市〉楠根東小学校

〈河南町〉白木小学校

(6) 博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

① 大学生（博物館学実習等）

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

6月7日（日）	関西大学調査実習	【57名】
6月13日（土）	桃山学院大学	【3名】
7月22日（水）・23日（木）	奈良大通信教育学芸員課程	【35名】
7月28日（火）～8月1日（土）	博物館実習	【16大学・28名】
8月19日（水）	大阪教育大学	【15名】
8月26日（水）	東北学院大学	【40名】
12月20日（日）	神戸女子大学 考古学特講研修	【23名】

② 中学生・高校生（職場体験学習等）

中学生を1～2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。また、高校生の入門講座・バックヤードツアー等をとおして、学習機会を提供した。

5月15日(金)	大阪府立今宮高校	【27名】
7月8日(水)	大阪府立成美高校	【15名】
7月22日(水)	高校生インターンシップ	【2名】
8月4日(火)～8月5日(水)	大阪府立今宮高校	【9名】
8月14日(金)	高校生博物館ツアー	【2名】
9月17日(木)～18日(金)	高石市立取石中学校	【2名】
10月1日(木)～2日(金)	高石市立高石中学校	【5名】
11月10日(火)～11日(水)	和泉市立信太中学校	【6名】
11月11日(水)～12日(木)	和泉市立郷荘中学校	【4名】
11月17日(火)～18日(水)	和泉市立石尾中学校	【4名】
11月18日(水)～19日(木)	忠岡町立忠岡中学校	【5名】
12月16日(水)～17日(木)	大阪府立泉鳥取高校	【1名】
2月18日(木)～19日(金)	高石市立高南中学校	【5名】

③ 教員等研修

教員等の研修を行い、連携を深めた。

8月11日(火)～12日(水)	大阪府初任者研修	【5名】
8月14日(金)	博学連携セミナー(高校教諭対象)	【14名】
8月21日(金)	博学連携セミナー(小中学校教諭対象)	【11名】

④ 子ども一日館長

3月25日(金)	和泉市立池上小学2名(任命式、宝べやツアー)	【57名】
----------	------------------------	-------

⑤ 中学生フレッシュコンサート 3月25日(金)

和泉市立郷荘中学校・高石市立取石中学校	【107名】
---------------------	--------

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ① 大阪府立狭山池博物館 | 【入館者数 :12,017名】 |
| ア. 開催期間 | 平成27年4月28日(火)～5月24日(日) |
| イ. 内容 | 「河内の弥生美」 |
| ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 | 【入館者数 :13,765名】 |
| ア. 開催期間 | 平成27年4月1日(水)～平成28年3月31日(木) |
| イ. 内容 | 当館所蔵の資料を展示 |
| ③ 和泉市池上曾根弥生情報館 | 【入館者数 :88,597名】 |
| ア. 開催期間 | 平成27年4月1日(水)～平成28年3月31日(木) |

イ. 内 容 当館所蔵の資料を展示

- ④ 大阪府立中央図書館 【入館者数 :45,414名】
ア. 開催期間 平成27年8月25日(火)～9月20日(日)
イ. 内 容 「卑弥呼の時代の鏡」「『卑弥呼の時代を描こう』優秀作品展」
- ⑤ 彦根市立一支国博物館 【入館者数 :26,804名】
ア. 開催期間 平成27年4月1日(水)～平成28年3月31日(木)
イ. 内 容 キッズこうこがく研究所コーナーにて弥生博紹介展示
- ⑥ 滋賀県立安土城考古博物館 【入館者数 :11,419名】
ア. 開催期間 平成27年7月18日(土)～9月23日(水祝)
イ. 内 容 第4回大阪・滋賀博物館連携企画コーナー展示「河内の弥生土器の美」
- ⑦ 高石市立図書館郷土資料室 【入館者数 :61,301名】
ア. 開催期間 平成27年10月31日(土)～平成28年2月22日(月)
イ. 内 容 「大園遺跡を語る」

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。

- ① ミニ実習 【参加者数 :28名】
ア. 開催日 5月4日(月祝)
イ. 内 容 「消しゴム粘土でつくろう、弥生の飾り一勾玉編一」
ウ. 連携先 きしわだ自然資料館
- ② ふれあいまつり 【参加者数 :78名】
ア. 開催日 5月5日(火)
イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 連携先 池上曾根弥生学習館
- ③ 大坂夏の陣 2015 in 万博 【参加者数 :116名】
ア. 開催日 5月24日(日)
イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
ウ・連携先 大坂の陣400年プロジェクト実行委員会
- ④ しおんじやま古墳学習館10周年記念トークショー&体験イベント 【参加者数 :38名】
ア. 開催日 6月6日(土)
イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 連携先 八尾市立しおんじやま古墳学習館
- ⑤ 自然資料館二十歳の感謝祭 【参加者数 :48名】
ア. 開催日 6月7日(日)
イ. 内 容 「ぬって作ろう!アート勾玉」
ウ. 連携先 きしわだ自然資料館
- ⑥ むか～しむかし 弥生時代のくらし体験 【参加者数 :94名】

- ア. 開催日 6月14日(日)
 イ. 内容 「石器できろう、精米・粃擦りをしよう、狩りをしよう、消しゴムでまが玉をつくろう」
 ウ. 連携先 旧河澄家
- ⑦ うえろくこどもワークショップ 【参加者数:36名】
 ア. 開催日 8月2日(日)
 イ. 内容 『卑弥呼の鏡』をつくろう！
 ウ. 提携先 近鉄百貨店上本町店
- ⑧ 関西大学博物館キッズミュージアム 【参加者数:113名】
 ア. 開催日 8月4日(火)
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
 ウ. 提携先 関西大学博物館
- ⑨ 第2回ハスフェスタ 【参加者数:56名】
 ア. 開催日 8月7日(金)
 イ. 内容 「消しゴムまが玉をつくろう！」
 ウ. 提携先 泉南市埋蔵文化財センター
- ⑩ 西宮阪急 子育てコミュニティルーム 【参加者数:24名】
 ア. 開催日 8月11日(火)
 イ. 内容 「卑弥呼の鏡」をつくろう！
 ウ. 提携先 西宮阪急 子育てコミュニティルーム
- ⑪ まなぼスタジオ 【参加者数:33名】
 ア. 開催日 8月12日(水)
 イ. 内容 「紙すき体験」
 ウ. 提携先 近鉄文化サロン阿倍野
- ⑫ 「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品展関連 【参加者数:83名】
 ア. 開催日 9月12日(土)・9月19日(土)
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
 ウ. 提携先 大阪府立中央図書館
- ⑬ 音☆楽市(まなびのプラザ) 【参加者数:84名】
 ア. 開催日 9月13日(日)
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
 ウ. 提携先 和泉市教育委員会
- ⑭ 高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2015 【参加者数:78名】
 ア. 開催日 10月3日(土)、10月4日(日)
 イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
 ウ. 連携先 和泉市教育委員会
- ⑮ 和泉市商工まつり 【参加者数:261名】
 ア. 開催日 10月24日(土)、10月25日(日)

- イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 提携先 和泉市商工会議所
- ⑩ 全国古代体験フェスティバル2015 【参加者数：118名】
ア. 開催日 11月7日(土)
イ. 内容 「ぬってつくろう！アート勾玉」
ウ. 提携先 兵庫県立考古博物館
- ⑪ JAいずみの 農業まつり 【参加者数：81名】
ア. 開催日 11月15日(日)
イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 提携先 JAいずみの
- ⑫ 第6回 風土記まつり 【参加者数：147名】
ア. 開催日 11月15日(日)
イ. 内容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 提携先 紀伊風土記の丘
- ⑬ 第5回 come come* はにコット 【参加者数：100名】
ア. 開催日 11月22日(日)
イ. 内容 「オリジナル勾玉をつくろう！」
ウ. 提携先 いましろ大王の杜(高槻今城塚古墳および今城塚古代歴史館)
- ⑭ ミニ実習 弥生文化博物館がやってきた！ 【参加者数：24名】
ア. 開催日 1月24日(日)
イ. 内容 「古代人もつくった、ベンケイガイの貝輪をつくろう」
ウ. 提携先 きしわだ自然資料館

(3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

- ① しおんじやま古墳学習館10周年記念トークショー&体験イベント(八尾商工会議所)
6月6日(土)「キャラで楽しむ！～弥生犬カイトとリュウさん誕生秘話」
当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：38名】
- ② 桃山学院大学インテグレーション科目「図書館・博物館への誘い<春>」
6月24日(水)「博物館の現状と展望－歴史博物館の立場」
当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数：19名】
- ③ 奈良大学博物館実習講演会 【参加者数：106名】
6月27日(土)「大阪府立弥生文化博物館の学芸活動」
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ④ 近鉄文化サロン でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活3
7月16日(木)「三国志と魏志倭人伝の中の国ぐに」当館学芸員 柴田妃三光 【参加者数：88名】
9月17日(木)「魏志倭人伝にみる、生業とたしなみ」当館副館長兼学芸課長秋山浩三 【参加者数：100名】

- 11月19日(木)「魏志倭人伝にみる、習俗もろもろ」当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数:91名】
- 1月21日(木)「魏志倭人伝にみる、武器とたたかい」当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数:104名】
- 3月17日(木)「魏志倭人伝にみる、卑弥呼の事ども」当館館長 黒崎 直 【参加者数:105名】
- ⑤ 下関市立考古学博物館 平成27年度一般教養講座(第2回) 【参加者数:71名】
- 7月18日(土)「学界を揺るがした、池上曾根遺跡の近年成果三題—大型建物・弥生都市論・実年代—」
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ⑥ 大和文化会平成27年度月例講演会 第5回 【参加者数:657名】
- 7月25日(土)「藤原京の誕生—本格的都城の成立—」
当館館長 黒崎 直
- ⑦ 第51回企画展「よみがえる弥生のムラ 大中の湖南遺跡 発掘五〇年」(滋賀県立安土城考古博物館)
- 8月2日(日)博物館講座②「大中の湖南遺跡発掘の頃」 【参加者数:40名】
当館館長 黒崎 直
- 8月8日(土)博物館講座③「弥生<都市>論はその後どうなったか」 【参加者数:38名】
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ⑧ 第50回全国史跡整備市町村協議大会(ホテルニューオータニ高岡) 【参加者数:250名】
- 10月7日(水) 講演「全国の遺跡の整備と活用を考える」
パネルディスカッション「地域の中の文化財—記念物・文化的景観の保存活用の今後を見据えて—」
当館館長 黒崎 直
- ⑨ 平成27年度歴史講演会(発掘ふれあい館:東大阪市立埋蔵文化財センター)
- 10月11日(日)第1回「弥生文化と池上曾根遺跡」 【参加者数:71名】
当館学芸員 柴田妃三光
- 11月8日(日)第2回「弥生時代のはじまり—水田稲作を開始した最初の東大阪農民は何処からきたか—」
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数:73名】
- ⑩ 平成27年度エル・おおさか歴史セミナー(後期)大阪府内博物館館長リレー講演会 第1回
- 10月15日(木)「紫香楽宮と大仏造立—聖武天皇はなぜ、紫香楽に大仏を造ろうとしたのか—」
当館館長 黒崎 直 【参加者数:52名】
- ⑪ 2015年度後期考古学講座 最新考古学事情(よみうり伊丹文化センター) 【参加者数:9名】
- 12月5日(土)「考古学からみた性(SEX)と社会—性にかかわる象徴・遺品と階級的世界の成立—」
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ⑫ 高齢者大学 自然を楽しむ科(アネックスパル法円坂:大阪市教育会館) 【参加者数:54名】
- 1月13日(水)「古代の食を考える」
当館学芸員 瀬尾晶太

7. 「体験する博物館」事業

(1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップ等を行った。

- ① 夏休みフェスタ！
- 8月22日(土) プレイベント「土器・銅鐸パズル」 【参加者数計：840名】
 プレイベント「竪穴住居をたてよう」 【参加者数：36名】
 プレイベント「竪穴住居をたてよう」 【参加者数：11名】
- 8月23日(日) 「ミニ銅鐸風鈴をつくろう」 【参加者数：102名】
 「狩人体験」 【参加者数：219名】
 「土器・銅鐸パズル」 【参加者数：83名】
 「カイトとリュウさんの弥生ツアー」 【参加者数：38名】
 「カイトとリュウさんの考古学カードバトル」 【参加者数：67名】
 「ムシとのふれあいタイム」(伊丹市昆虫館・きしわだ自然資料館) 【参加者数：236名】
 「チョウのはねの麟粉転写」(伊丹市昆虫館・きしわだ自然資料館) 【参加者数：48名】
- ② 関西文化の日ワークショップ
- 11月14日(土) 「土器パズルでくらべよう！縄文土器と弥生土器」 【参加者数：32名】
 「縄文土器の文様をつけてみよう！」 【参加者数：43名】
 「カイトとリュウさんの弥生ツアー」 【参加者数：25名】
 「ベンケイガイの腕輪製作」 【参加者数：47名】
 「火おこし体験」 【参加者数：10名】
 「土器でお米を炊いてみよう！+粳すり体験」 【参加者数：23名】
 「カイトとリュウさん登場(着ぐるみ出演)」
 「計量クイズ」(大阪府計量検定所) 【参加者数：87名】
 「健康器具体験」(大阪府計量検定所) 【参加者数：37名】
 「家庭用計量器無料診断」(大阪府計量検定所) 【参加者数：5名】
 「計量ひろば」(大阪府計量検定所) 【参加者数：47名】
 「イライラ棒に挑戦！」(日本電気計器検定所) 【参加者数：55名】
 「実験！静電気モーターをつくろう！」(日本電気計器検定所) 【参加者数：30名】
- 11月15日(日) 「土器パズルでくらべてみよう！縄文土器と弥生土器」 【参加者数：71名】
 「ベンケイガイの腕輪製作」 【参加者数：78名】
 「土器でお米を炊いてみよう+粳すり体験」 【参加者数：38名】
 「火おこし体験」 【参加者数：34名】
 「狩猟体験」 【参加者数：38名】
 「カイトとリュウさん登場(着ぐるみ出演)」
 「イライラ棒に挑戦！」(日本電気計器検定所) 【参加者数：78名】
 「実験！静電気モーターをつくろう！」(日本電気計器検定所) 【参加者数：33名】
- ③ 冬のやよいミュージアム！
- 1月31日(日) 「土器・銅鐸パズル」 【参加者数：131名】
 「考古学カードバトル大会！」(協力：和泉市, 泉大津市, 八尾市立しおんじやま古墳学習館) 【参加者数：51名】
 「考古学カードかるた大会！」 【参加者数：40名】

「切ってナットク 石器体験」	【参加者数:126名】
「キミは解けるか?カイトの挑戦状!」	
「土器でお米を炊いてみよう」	【参加者数:43名】
「星形ペンダントをつくろう!」(池上曾根弥生学習館)	【参加者数:100名】
「勾玉をつくろう!」(池上曾根弥生学習館)	【参加者数:100名】
「チリメンモンスターをさがそう!」(きしわだ自然資料館)	【参加者数:144名】
「ストローで管玉ネックレスづくり」(泉南市埋蔵文化財センター)	【参加者数:103名】
「ガラス玉プレスレットづくり」(八尾市立しおんじやま古墳学習館)	【参加者数:72名】

④ 館内体験

4月11日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:11名】
4月25日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:13名】
5月9日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:20名】
5月23日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:15名】
6月13日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:21名】
6月27日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:10名】
7月12日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:5名】
7月25日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:16名】
8月8日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:6名】
9月12日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:29名】
9月26日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:28名】
10月10日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:4名】
10月24日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:77名】
11月28日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:10名】
12月12日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:8名】
12月26日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:4名】
1月9日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:3名】
1月23日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:8名】
2月13日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:3名】
2月27日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:2名】
3月12日(土)「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:15名】

⑤ 弥生フェスティバル

3月25日(金)「挑戦!土器・銅鐸パズル」	【参加者数:183名】
「子ども一日館長」	【参加者数:57名】
「フレッシュコンサート」	【参加者数:107名】
「子ども一日館長宝べやツアー」	【参加者数:30名】
「星形ペンダントをつくろう」(池上曾根弥生学習館)	【参加者数:350名】
「ビッグバン移動ミュージアム「だいすき!給食展」(大型児童館ビッグバン)	

	「マイお箸をつくろう！」(大型児童館ビッグバン)	【参加者数:40名】
	「マール勾玉グッズをつくろう！」(大阪府立近つ飛鳥博物館)	【参加者数:60名】
	「チリメンモンスターをさがそう！」(きしわだ自然資料館)	【参加者数:60名】
	「古墳壁掛けをつくろう！」(堺市博物館)	【参加者数:108名】
	「石庖丁をつくろう！」(和歌山県立紀伊風土記の丘)	【参加者数:30名】
3月26日(土)	「挑戦!土器・銅鐸パズル」	【参加者数:175名】
	「花のしおりをつくろう！」(大阪府立花の文化園)	【参加者数:204名】
	「土器でお米を炊いてみよう!+糺すり体験」	【参加者数:53名】
	「ニカワ体験!貼箱をつくろう!」	【参加者数:14名】
	「銅鐸を鑄造しよう!」	【参加者数:30名】
	「考古学カードを使って遊ぼう かるた大会」	【参加者数:40名】
	「考古学カードを使って遊ぼう バトル大会」	【参加者数:40名】
	「弥生の弓矢体験」	【参加者数:70名】
	「ナニソレ?昼間のナイトミュージアム」	【参加者数:45名】
3月27日(日)	「挑戦!土器・銅鐸パズル」	【参加者数:167名】
	「折り紙であそぼう!」(小谷城郷土館)	【参加者数:85名】
	「ミサンガをつくろう!」(泉南市埋蔵文化財センター)	【参加者数:105名】
	「はにコットオリジナルスタンプで古代バッグをつくろう」(はにコット)	【参加者数:49名】
	「勾玉ゆらゆらストラップをつくろう!」(はにコット)	【参加者数:43名】
	「ミニ銅鐸風鈴をつくろう!」	【参加者数:60名】
	「考古学カードを使って遊ぼう トランプ大会」	【参加者数:30名】
	「考古学カードを使って遊ぼう バトル大会」	【参加者数:25名】
	「弥生の火おこし体験」	【参加者数:60名】
	「ナニソレ?昼間のナイトミュージアム」	【参加者数:35名】

(2) 子どもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽!2015」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

4月18日(土)	「弥生の脱穀」	【参加者数:28名】
5月16日(土)	「弥生の石器」	【参加者数:21名】
6月20日(土)	「弥生の弓矢」	【参加者数:38名】
7月18日(土)	「弥生の火起こし」	【参加者数:27名】
8月15日(土)	「鳥形かみひこうきを作ろう!」	【参加者数:14名】
9月19日(土)	「土器をさわろう!」	【参加者数:26名】
10月17日(土)	「弥生の米つき体験」	【参加者数:12名】
11月21日(土)	「弥生の石器体験」	【参加者数:17名】

12月19日(土)「弥生の弓矢体験」	【参加者数：4名】
1月16日(土)「弥生の火おこし体験」	【参加者数：8名】
2月20日(土)「土器にふれてみよう」	【参加者数：25名】
3月19日(土)「弥生の火おこし」	【参加者数：24名】

8. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市町全児童にチラシを配付した。

- ア. 開催期間 平成28年3月23日(水)～30日(水) 7日間 【入館者数：5,556名】
- イ. 入館料 平成28年3月25日(金)～27日(日)は無料
- ウ. イベント 前掲

(2) 要覧の作成

『平成26年度弥生文化博物館要覧』(平成28年3月31日発行)を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語/大人用・子ども用)を作成し、配布した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート(8種類)を用意し、ホームページからダウンロードして利用いただけるようにした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート(7種)及びボランティアが作成した常設展示点字解説シート、マンガによる解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

(9) インターネットホームページ

ホームページおよびフェイスブックによる情報提供を行った。 【年間アクセス件数：351,407件】
館キャラクターが当館の展示物、催し等を紹介する四コマ漫画をホームページに連載し、フェイスブッ

ク上で動画の配信を行った。さらに、福岡県糸島市の協力を得て、春季特別展のインターネットバナー広告を掲出した。

9. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。 【資料2件・16点／写真54件・105点】

10. 研究事業

国内外の研究者との学術交流

国内大学、教育委員会等研究者 【125名】

海外研究者 【5名】

11. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

12. 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館活動支援事業

館キャラ連携プロジェクト実行委員会の中核館として、滋賀県立安土城考古博物館、老岐市立一支国博物館、八尾市立しおんじ山古墳学習館他の協力を得て、遺跡&博物館ガイド「博物館へ行こう」「遺跡へ行こう」及び考古学ハンターミッションカード並びにコレクションシートを作成し、利用者や関係機関に配布した。また、館キャラクターによる音声ガイド（日本語、英語、中国語、韓国語）を制作し公開するとともに、フェイスブックでの動画配信を開始した。

【補助事業費：7,644,000円】

13. サービス事業

(1) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

(2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイドと英語版音声ガイド及び館キャラクター・カイトとリュウさんによる日本語・英語・中国語・韓国語音声ガイド（いずれも常設展示）を用意し、無料で貸し出しを行った。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

(4) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないしは更新した。

- ・ 経年劣化による不具合が生じた冷温水発生機の補修を行い、空調機能の低下を防止した。

- ・ 一般収蔵庫の壁の漏水箇所を補修し、あわせて壁沿いに堰を設け、漏水が発生しても他箇所に広がらないように予防的措置を行った。
- ・ EV機械室の壁の漏水箇所を補修し、漏水が発生しても適切に排水できるよう予防的措置を行った。
- ・ 非常階段のコンクリート剥落箇所を補修した。

14. 自主事業

ミュージアムショップの整備、オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

15. 入館者数及び入館料一覧表

区 分	入館者数 (名)			入館料 (円)	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	2,550	9,155	11,705	389,720	52 日間
割合%	12.7	20.6	18.1		
H26 冬季企画展	563	3,534	4,097	143,000	17 日間
割合%	2.8	7.9	6.3		
春季特別展	4,656	8,484	13,140	1,624,460	57 日間
割合%	23.3	19.0	20.4		
夏季企画展	4,827	6,374	11,201	1,389,680	59 日間
割合%	24.1	14.3	17.4		
秋季特別展	3,232	10,904	14,136	969,480	50 日間
割合%	16.2	24.5	21.9		
冬季企画展	3,306	4,674	7,980	830,740	54 日間
割合%	16.5	10.5	12.4		
ミュージアムギャラリー	873	1,413	2,286	156,020	20 日間
割合%	4.4	3.2	3.5		
合 計	20,007	44,538	64,545	5,503,100	309 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 26 年度実績			61,041	4,955,640	303 日間
平成 25 年度実績			61,024	4,957,480	303 日間
平成 24 年度実績			57,612	3,956,580	305 日間

(金額は税込額)

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 常設展示

第1ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第2ゾーンで「古代国家の源流」、第3ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

2. 特別展企画展事業

(1) 春季特別展「古代出雲とヤマト王権—神話の国の考古学—」

【総入館者数 28,387名・特別展入館者数：11,449名・展示室 204名/日】

ア. 開催趣旨 出雲は、『日本書紀』『古事記』における「出雲系神話」をはじめ、『出雲国風土記』、現在まで続く出雲大社と、日本古代国家の形成を考えるうえで重要な存在といえる地域です。一方で、従来の出雲における考古資料からは出雲の重要性を示すことは難しいともいわれてきました。ところがこの30年余り、荒神谷遺跡の銅剣358本の出土をはじめ、加茂岩倉遺跡の銅鐸39個の発見、岡田山1号墳の「額田部臣」銘円頭大刀など歴史的発見が続き、また従来からの資料の見直しも進められたことから、まさに古代史の宝庫と言われていています。今回の展覧会では、出雲の歴史的な歩みを明らかにする考古資料を展示し、古墳時代史の中にヤマト王権と出雲の関係性に迫りたいと思います。

イ. 開催期間 平成27年4月25日(土)～6月28日(日) 【会期：56日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は2(6)参照

エ. 講演会等

プレ講演会

・4月19日(日)「よみがえる最古の人物埴輪たち」椿真治氏(島根県教育庁) 【219名】

講演会

・5月10日(日)「出雲は邪馬台国連合には含まれていなかった」

白石太一郎(当館館長) 【608名】

・5月24日(日)「神話・伝承からみた出雲と大和」瀧音能之氏(駒澤大学教授) 【470名】

・6月7日(日)「弥生時代の出雲と青銅器」松本岩雄氏(八雲立つ風土記の丘所長) 【280名】

・6月14日(日)「古墳の儀礼からみた出雲とヤマト王権」

森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【492名】

シンポジウム

・6月21日(日)『古代出雲とヤマト王権』 【535名】

「東からみた出雲の古墳時代」廣瀬時習(当館総括学芸員)

「出雲の古墳時代を考える」角田徳幸氏（島根県立古代出雲歴史博物館交流・普及課長）

「西からみた出雲の古墳時代」藏富士寛氏（福岡市文化財課文化財主事）

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 【6回・計247名】

実施日：4月26日（日）、5月3日（日・祝）、5月6日（水）、5月17日（日）、
6月6日（土）、6月28日（日）

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 5月31日（日）「出雲とのつながりを求めて－阪神地域の遺跡を歩く－」【126名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。

ケ. 開会式 4月25日（土）地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

コ. 主催：本館、島根県立古代出雲歴史博物館

後援：島根県古代文化センター、朝日新聞社、太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

（2）夏季企画展「馬がやってきたころ－古墳時代の文明開化－」

【総入館者数12,612名・企画展入館者数：5,075名・展示室100名／日】

ア. 開催趣旨 大阪に大きな古墳がつくられ始めるころ、海の向こうから馬がやってきました。馬は当時東アジアで起こっていた戦にそなえてやってきたと考えられますが、田んぼを耕したり、ものを運んだり、機械や自動車がない時代の人々にとって馬の力は大きな支えになりました。

同じころ、大陸からモノづくりの専門家がやってきて、様々な技術や文化を伝えました。鉄器を専門に作る工房ができ、農具や工具などの道具や、武器・武具が新しくなります。また、割れにくい土器の作り方がつたわり、“須恵器”が生まれ、技術が瞬く間に全国各地へ広まりました。そして、大陸の人たちが使っていたカマドを使った調理の仕方もこの頃に伝えられたようです。古代人は海外からの新たな知恵や道具を取り入れ、国づくりを行ないました。

大阪では、古墳時代の馬をはじめとした、大陸から伝わった文化を示す遺跡がたくさんみつかっています。5世紀代、海をこえてやってきた技術や文化について出土品から探り、子どもたちにも分かりやすく紹介します。

イ. 開催期間 平成27年7月18日（土）～9月13日（日） 【会期：51日間】

ウ. 小冊子の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 小冊子の詳細は2（6）参照

エ. 講演会・体験学習

展示に即した講演会、セミナーを実施。小・中学生を対象とした冒づくり、勾玉づくりなど体

験学習を実施した。

講演会

- ・8月30日(日)「5世紀の河内湖周辺における鍛冶遺跡の展開」

真鍋成史氏(たたら研究会会員) 【141名】

- ・8月2日(日)「どうして日本にウマがやってきたのか」白石太一郎(当館館長) 【195名】

考古学セミナー

- ・9月6日(日)「韓式系土器と渡来人の集落」森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【83名】

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。 【3回・計55名】

実施日:7月20日(月・祝)、8月15日(土)、9月5日(土)

カ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPR
やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

キ. 主催:本館

後援:堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、富田林市、富田
林市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市
古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

(3) 秋季特別展「ワカタケル大王の時代—ヤマト王権の成熟と革新—」

【総入館者数 17,148名・特展入館者数:6,799名・展示室136名/日】

ア. 開催趣旨 百舌鳥・古市古墳群の形成期後半にあたる5世紀後半に活躍したとされるワカタケル(雄略)大王は、文献史料からヤマト王権の専制化を強く推し進めた大王として知られます。考古資料においても、大規模古墳の築造が途絶える地域がみられる一方、逆にこの時期から古墳を築造する地域がみられることなどから、全国的な政治変動があったことがうかがえます。また、半島との交流を裏付ける考古資料においても、畿内における初期横穴式石室の登場や、各種手工業生産の革新などがみられ、半島情勢の変化が少なからずこの政治変動に影響を与えていたとも考えられます。このような動きは、伝統的な大王権力の伸展とともに、新しい制度の積極的な導入を反映したものとみられ、古代国家形成におけるひとつの画期ととらえられるでしょう。

先進的な渡来文化を積極的に取り入れ、各地の有力豪族を滅ぼしながらヤマト王権の勢力拡大を図ったとされるワカタケル大王の時代を考古資料からひもときます。

イ. 開催期間 平成27年10月3日(土)~11月29日(日) 【会期:50日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は2(6)参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

講演会

- ・10月25日(日)『『治天下大王』の支配観』仁藤敦史氏(国立歴史民俗博物館教授) 【188名】
- ・11月8日(日)「古墳時代中期から後期の画期とワカタケル大王」
和田晴吾氏(兵庫県立考古博物館館長) 【171名】
- ・11月23日(月・祝)「ワカタケル大王とその時代」白石太一郎(当館館長) 【315名】

ミニシンポジウム

- ・10月12日(月・祝)『ワカタケル大王の時代を彩る副葬品』 【222名】
「同型鏡群とワカタケル大王の時代」辻田淳一郎氏(九州大学大学院准教授)
「装身具からみた5世紀後半の王権と地域」廣瀬時習(当館総括学芸員)
討論司会/市村慎太郎(当館総括学芸員)
- ・11月15日(日)『ワカタケル大王の時代の王権と氏族』 【212名】
「集落・宮からみた王権と氏族」坂 靖氏(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館総括学芸員)
「群集墳の出現と王権・氏族」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)
討論司会/市村慎太郎(当館総括学芸員)

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。 【5回・計126名】

実施日:10月4日(日)、10月17日(土)、10月31日(土)、11月21日(土)、
11月29日(日)

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 11月1日(日)「古市古墳群にワカタケル大王を求めて」 【83名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPR
やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ケ. 開会式 10月3日(土)地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

コ. 主催:本館、産経新聞社

後援:堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、河南町、河南町
教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部
会議、近畿日本鉄道株式会社

(4) 冬季企画展「歴史発掘 おおさか2015—大阪府発掘調査最新情報—」

【総入館者数18,214名・特展入館者数:5,087名・展示室99名/日】

ア. 開催趣旨 大阪府には、旧石器時代から近代まで、あらゆる時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、毎年、多くの発掘調査が実施されています。こうした最新の発掘調査成果から遺跡を身近に感じとり、また、出土品を通して当時の生活や社会について探り、私たちの街、大阪の魅力を再発見していただきたいと思います。

今回、大阪府内の最新発掘調査の成果を府民に広く知ってもらえる機会とし、大阪府をはじめ、市町村の協力により、大阪府内の埋蔵文化財の最新情報をご覧いただきたいと思います。

イ. 開催期間 平成28年1月23日(土)～3月21日(月・祝) 【会期：51日間】

ウ. 企画展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は2(6)参照

エ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会、発掘調査報告会を実施した。

講演会

・2月14日(日)「大坂夏の陣と小松山・道明寺の戦い」(柏原市民歴史クラブ共催)

天野忠幸氏(柏原市立歴史資料館)【100名】

・3月21日(月・祝)「高安千塚と一須賀古墳群」白石太一郎(当館館長)

【143名】

特集展示講演会

・2月28日(日)『古墳からみた地域首長とその周辺』

【94名】

「前方後円墳を取り巻く中小古墳」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

調査報告会『おおさかを掘るー最新発掘調査の成果ー』

・1月31日(日)

【118名】

「邪馬台国時代の河内ー八尾市成法寺遺跡」

西村公助氏(公益財団法人八尾市文化財調査研究会)

「学史に残るカマド塚の調査ー茨木市上寺山古墳」玉井 功(当館客員学芸員)

「木簡の語る古代史ー柏原市安堂遺跡」山根 航氏(柏原市教育委員会)

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員が展示解説を実施した。

【6回・計67名】

1月24日(日)、1月30日(土)、2月6日(土)、2月20日(土)、

3月19日(土)、3月20日(日)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPR

やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ク. 主催：本館

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

デザイン協力：大阪芸術大学芸術学部デザイン学科

(5) スポット展示

大阪府内における主要古墳の調査成果・研究成果を、資料所蔵者の協力のもと、地階広場あるいは常設展示室において公開した。

【2回23日・計3,784名】

・7月1日(土)～7月12日(日)「水野正好さんと大阪の古墳」

【11日・2,815名・256名/日】

・9月15日(火)～9月27日(日)「北摂群集墳の新発見」

【12日・969名・81名/日】

(6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行し、関係機関等に配付した。

・『古代出雲とヤマト王権』大阪府立近つ飛鳥博物館図録66 4月25日発行

・『発掘された馬と渡来人』7月18日発行

・『ワカタケル大王の時代ーヤマト王権の成熟と革新ー』大阪府立近つ飛鳥博物館図録67

10月3日発行

・『歴史発掘おおさか2015』大阪府立近つ飛鳥博物館図録68 1月23日発行

3. 講演会事業

(1) 安藤忠雄氏講演会「Vision 生きる力」の開催

3月5日(土)、うめまつりの一環として、近つ飛鳥梅いっぱい委員会主催、安藤忠雄氏講演会を、本館ホールを会場に開催した。

【417名】

(2) 近つ飛鳥常設展示解説(入門講座)・土曜講座(オーサカ発 調査研究最前線)

「入門講座」は、常設展示の各コーナーを対象にした講座をホールにて行い、常設展示の内容をより理解していただく機会を作った。「土曜講座」は最新の発掘調査や研究を知る機会として開催した。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

毎月第2土曜日を基本とし、常設展示室の内容に関わる基礎的な講座を当館学芸員が行った。目標通り計10回を実施した。

【10回・計275名】

・第85回 5月9日(土)「須恵器生産の始まりと渡来文化」

・第86回 6月13日(土)「三ツ塚古墳と修羅」

・第87回 7月11日(土)「竪穴式石室の世界」

・第88回 8月8日(土)「巨大古墳の造営とその技術」

・第89回 9月12日(土)「黄泉の国神話と横穴式石室」

・第90回 10月10日(土)「家形埴輪の見方」

・第91回 11月14日(土)「近つ飛鳥の終末期古墳」

・第92回 12月12日(土)「古墳時代の馬具」

・第93回 2月13日(土)「倭国と鉄資源」

- ・第94回 3月12日(土)「出土品の年代の探り方」

イ. 土曜講座

毎月第4土曜日を基本とし、目標通り計10回を実施した。 【10回・計468名】

- ・第75回 5月23日(土)「山陰系土器の流入とその背景」市村慎太郎(当館総括学芸員)
- ・第76回 6月26日(土)「玉と玉生産からみた出雲」廣瀬時習(当館総括学芸員)
- ・第77回 7月25日(土)「初期ヤマト王権の経済基盤」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)
- ・第78回 8月22日(土)「夏季企画展をより深く知るには」永山はるか(当館学芸員)
- ・第79回 9月26日(土)「北摂の群集墳～高槻市成合地区における後・終末期古墳の調査」
笹栗 拓氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
- ・第80回 10月24日(土)「5世紀後半の地域像—大阪と奈良の比較—」
市村慎太郎(当館総括学芸員)
- ・第81回 11月14日(土)「5世紀後葉における須恵器生産の需要パターン」
小野寺洋介(当館学芸員)
- ・第82回 1月23日(土)「古墳と葬送儀礼」廣瀬時習(当館総括学芸員)
- ・第83回 2月13日(土)「再利用からみた古墳」森山由香里(当館学芸員)
- ・第84回 3月12日(土)「終末期古墳の墳形と立地—その導入をめぐる—」
森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

(3) 博物館共催かなん文化財講座

博物館の所在する河南町教育委員会と連携し、博物館学芸員、河南町教育委員会職員を講師に、地域の歴史を深く学ぶ連続講座を行った。 【7回・のべ参加者数86名】

- ・第1回 6月17日(水)「一須賀古墳群がつくられた時代」
- ・第2回 7月22日(水)「一須賀古墳群の装身具」
- ・第3回 9月16日(水)「一須賀古墳群の石棺」
- ・第4回 10月21日(水)「一須賀古墳群と石塚古墳群」
- ・第5回 11月18日(水)「一須賀古墳群出現以前」
- ・第6回 12月16日(水)「須恵器生産の始まりと一須賀2号窯」
- ・第7回 1月28日(水)「学習交流会」

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、黄泉の塔をバックに地元高校生による音楽会を開

催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

・4月29日(水・祝) 府立富田林高校・初芝富田林高校・府立生野高校・大阪暁光高校・府立藤井寺高校・阪南大学高校 【6校・496名】

・11月3日(火・祝) 上宮太子高校・府立懐風館高校・府立金剛高校・府立富田林高校・府立長野高校・初芝富田林高校・府立藤井寺高校 【7校・414名】

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日(日・祝)、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。 【357名】

(3) 博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

・5月4日(月・祝) 【28名】

・7月19日(日) 【27名】

・8月2日(日) 【40名】

・8月9日(日) 【38名】

・8月23日(日) 【20名】

(4) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

・5月5日(火・祝) 【参加者28名】

(5) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。 【13回・計：4,941名】

・3月31日(火)～4月12日(日)「太子切り絵サークル 春の作品展」

・4月4日(土)「アスカディアヒーローズ -お花見スペシャル-」

・4月28日(火)～5月12日(火)「第7回 ふるさと俳画展」

- ・ 7月1日(水)～7月12日(日)「水野正好氏追悼写真展」
- ・ 7月4日(土)「アスカディアヒーローズ」
- ・ 8月1日(土)～8月30日(日)「2015年夏休み 児童はにわ展」
- ・ 9月1日(火)～9月16日(水)「吉永喜一 ミニチュア古民家作品展 心の故郷」
- ・ 9月17日(木)～10月3日(土)「写真展 想いのままに…」
- ・ 10月4日(日)～10月17日(土)「こけしのとみ子とゆかいな仲間達展」
- ・ 10月20日(火)～10月25日(日)「第16回かなん写真クラブ 写真展」
- ・ 11月10日(火)～11月15日(日)「MOA美術館南河内児童作品展」
- ・ 11月17日(火)～11月29日(日)「よつばの会 油画作品展」
- ・ 2月2日(火)～2月23日(火)「大坂夏の陣 小松山・道明寺の戦い」

(6) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・古代衣裳体験・講演会・れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。 【登録25名・協力のべ人数109名】

(7) その他の事業

ア. うめまつりの開催

3月4日(金)～3月6日(日)実施。講演会などを開催。 【期間中総入館者3,670名】

講演会

3月5日(土) 【417名】

「Vision生きる力」安藤忠雄氏

イ. さくらまつりの開催

3月26日(土)～3月27日(日)実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【107名】、古代衣裳着用体験【157名】などを実施。 【期間中総入館者2,264名】

5. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に教員の下見を随時実施し、ワークシートなどの解説を行うことにより事前学習の一助とした。また、見学当日には、学芸員によるガイダンスを行うとともに、各種の体験学習を実施した。

【入館者数：2,282名】

<河南町>白木小学校、近つ飛鳥小学校

<富田林市>喜志小学校、大伴小学校、向陽小学校、東條小学校
<柏原市>堅下北小学校
<河内長野市>美加の台小学校
<千早赤阪村>千早小吹台小学校、赤阪小学校
<羽曳野市>恵我之荘小学校
<松原市>松原西小学校、松原東小学校
<枚方市>藤阪小学校、長尾小学校、山田小学校
<寝屋川市>寝屋川第5小学校
<大東市>住道南小学校
<東大阪市>大平寺小学校
<八尾市>八尾特別支援学校
<堺市>八田荘西小学校、西百舌鳥小学校
<和泉市>北池田小学校
<大阪府立>八尾支援学校
<奈良県斑鳩町>斑鳩小学校
<奈良県香芝市>真美ヶ丘東小学校
<和歌山県海南市>巽小学校
<兵庫県伊丹市>鴻池小学校

(2) 高等学校、中学校等の見学受け入れ

【入館者数：1,138名】

高等学校

<府立>勝山高等学校、西浦支援学校、藤井寺支援学校（高等部）
<和歌山県橋本市>きのくに子どもの村学園
<私立>四天王寺学館高等学校

中学校

<大阪市>光陽特別支援学校（中学部）
<府立>西浦支援学校（中学部）
<私立>大谷中学校、関西大倉中学校、四天王寺中学校

(3) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で製作した作品を博物館内

に展示する機会を設け、来館を促した。大学には博物館実習等の一環として出張講座を行った。

ア. 小学校

【実績：2,453名・68回】

＜太子町＞山田小学校、磯長小学校

＜富田林市＞高辺台小学校、向陽台小学校、喜志小学校

＜大阪市＞依羅小学校、中央小学校、聖賢小学校、桃陽小学校、今川小学校、成育小学校、北恩加島小学校、柏里小学校、南港光小学校、中津小学校、中川小学校、長橋小学校、山之内小学校、視覚支援学校（小学部）

＜枚方市＞殿山第2小学校、枚方小学校、樟葉北小学校

＜八尾市＞八尾特別支援学校、高美南小学校

＜堺市＞津久野小学校、深井西小学校、黒山小学校

＜和泉市＞北松尾小学校

＜岸和田市＞新条小学校、城東小学校

＜貝塚市＞二色小学校

＜豊中市＞庄内南小学校

＜箕面市＞北小学校

＜奈良県御所市＞秋津小学校

＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校

＜大阪府立＞藤井寺支援学校

イ. 中学校、高等学校、大学

【実績：3,440名・71回】

(4) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。また、近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

(5) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。

【4件・計32名】

7月28日（火）～29日（水）教職員初任者研修

7月28日（火）教職員自主研修（1回目）

10月23日（金）国際協力機構研修 国際研修博物館学コース

12月25日（木）教職員自主研修（2回目）

(6) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。「近頃の楽しみ方・指令書・お魚さがそう・おしゃれな古代人・展示キットで遊ぼう・風土記の丘ラリーカード」

【6種・計3,085枚】

(7) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。芸術大学の映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の場とした。

【21件・計573名】

- 4月8日(日) 大阪芸術大学 文芸学科フレッシュマンキャンプ
- 4月18日(土) 大阪大谷大学 歴史文化学科新入生研修
- 4月23日(木) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科「里地里山管理学実習」
- 6月23日(火) 大阪芸術大学 放送学科「中継実習」協議
- 6月23日(火) 太子中学校「福祉実習」
- 7月24日(金) 奈良大学 通信教育部 博物館実習受入れ
- 8月2日(日) 太子中学校「アンケート調査実修」
- 8月2日(日) 大阪芸術大学 放送学科「中継実習」
- 8月6日(木)～7日(金) 大阪府立今宮高校 夏季集中講座「考古学入門」
- 8月8日(土)～9日(日) 太子中学校「アンケート調査実修」
- 8月12日(水)～16日(日) 博物館実習
- 8月26日(水) 東北学院大学 歴史学科 博物館見学実習
- 8月28日(金)～9月14日(月) 大阪大谷大学 歴史文化学科 測量実習
- 10月4日(日) 奈良大学 博物館学講座
- 10月27日(日) 奈良大学 植野浩三ゼミ 見学実習
- 11月8日(日) 中学生太子サミット
- 11月14日(土) 大阪教育大学 「考古学」現地講義
- 12月10日(木) 大手前高校 「集中セミナー」
- 12月10日(木) 大阪芸術大学 映像学科 「創立70周年記念映画撮影」協議
- 1月9日(土) 大阪芸術大学 映像学科 「創立70周年記念映画撮影」協議
- 2月26日(金) 大阪府中学校社会科教育研究会

(8) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考と

する体験を支援した。

【5件・計36名】

10月27日(火) 河南町立中学校 職業体験

11月5日(木)～6日(金) 富田林市立喜志中学校 職業体験

11月11日(水)～13日(金) 太子町立中学校 職業体験

12月10日(木)～11日(金) 富田林市立第一中学校 職業体験

12月10日(木)～11日(金) 河内長野市立千代田中学校 職業体験

(9) 一日館長の選定

地元住民、特に児童に対して、地域の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。河南町立近つ飛鳥小学校の6年生徒2名を選定。8月2日(日)に就任式を行い、白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事した。

(10) 2015 夏休み児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、出前授業で行った14校の埴輪づくりの作品展を実施した。優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を選定し、8月2日に表彰式を実施した。

会期 8月1日(土)～8月30日(日)

【7,160名】

(11) 地元大学との連携

大阪芸術大学のポスターデザイン作品発表の場として博物館を活用していただき、冬季特別展ポスター・チラシ・リーフレットは大阪芸術大学芸術学部デザイン学科3回生が制作した。また放送学科中継実習を受け入れたほか、大阪芸術大学学園祭に出展し、博物館と大学の連携活動について紹介した。

6. 「どこでも博物館」事業

(1) れきしウォーク(現地見学会)

学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、古墳を中心とした歴史遺産の現状を紹介するとともに、来館の機会を促した。各特別展関連行事に加え、定例行事として定期的開催した。

・4月12日(日)「高安山西麓の古墳をめぐる」

【参加人数：48名】

・5月31日(日)「出雲とのつながりを求めて」

【参加人数：126名】

・9月20日(日)「摂津池田の古墳をめぐる」

【参加人数：42名】

- ・11月1日(日)「古市古墳群にワカタケル大王を求めて」 【参加人数：83名】
- ・12月13日(日)「岸和田の古墳をめぐる」 【参加人数：44名】
- ・3月6日(日)「平群谷の古墳をめぐる」 【参加人数：51名】

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①出張講座(当館学芸員・客員学芸員)

- ・4月18日(土)朝日カルチャー歴史散歩
「まるごと東大寺を散策する」玉井 功 【21名】
- ・5月9日(土)たわらもと2015発掘速報展講演会
「大和における玉と玉生産」廣瀬時習 【71名】
- ・5月16日(土)朝日カルチャー歴史散歩
「京都・深草界限を歩く」玉井 功 【22名】
- ・5月24日(日)島根県立八雲立つ風土記の丘 風土記の丘教室500回記念講演
「ヤマト王権と出雲」廣瀬時習 【110名】
- ・5月27日(水)同志社大学公開講座
「古代人を魅了した玉―玉生産と流通―」廣瀬時習 【400名】
- ・6月13日(土)祿水苑ウォーク―歴史探訪―
「枚方・牧野周辺と渚院に遊ぶ」玉井 功 【15名】
- ・6月20日(土)朝日カルチャー歴史散歩
「尼崎城周辺と寺町界限を見て歩く」玉井 功 【24名】
- ・7月4日(土)よみうり伊丹文化センター
「古墳時代と渡来系装身具」廣瀬時習 【7名】
- ・7月9日(木)奈良女子大学キャリアデザインゼミナール 博物館で学ぶ
「近つ飛鳥博物館で学ぶ、古墳とヤマト王権」森本 徹 【7名】
- ・7月18日(土)朝日カルチャー歴史散歩
「狭山池とその周辺を歩く」玉井 功 【15名】
- ・7月26日(日)NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会現地見学
「京都太秦の古墳をめぐる」廣瀬時習 【34名】
- ・8月28日(金)堺市立女性センター 堺自由の泉大学
「弥生時代の農業と古墳時代の始まり」森本 徹 【73名】
- ・9月11日(金)堺市立女性センター 堺自由の泉大学

- 「飛鳥時代の開発と古代国家の誕生」森本 徹 【73名】
- ・9月12日(土) 禄水苑ウォークー歴史探訪ー
「津堂城山古墳を訪ねる」玉井 功 【16名】
 - ・9月15日(火) 奈良文化財同好会
「喪葬儀礼からみた終末期古墳の被葬者像」森本 徹 【129名】
 - ・9月19日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「西国街道と播磨国の中心地を見て回る」玉井 功 【17名】
 - ・10月3日(土) よみうり伊丹文化センター
「雄略大王の時代」森本 徹 【15名】
 - ・10月17日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「斑鳩に古刹を訪ねる」玉井 功 【17名】
 - ・10月23日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学
「巫女形埴輪の特徴と性格」小栗 梓 【64名】
 - ・10月30日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学
「畝傍山東麓の遺跡と橿考研附属博物館の見学」小栗 梓 【59名】
 - ・11月7日(土) 禄水苑ウォークー歴史探訪ー
「馬見丘陵の古墳と竹取物語の里を行く」玉井 功 【13名】
 - ・11月18日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座
「河内の墳墓群と古墳時代の始まり」市村慎太郎 【75名】
 - ・10月17日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「京都御苑周辺を訪ねる」玉井 功 【21名】
 - ・11月22日(日) 伊丹生涯学習センター 伊丹ロマン事業地域歴史講座
「古墳時代の衣裳って、どんなん？」森本 徹 【101名】
 - ・12月2日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座
「松岳山古墳と佐紀政権」市村慎太郎 【70名】
 - ・12月16日(日) 千早赤阪村村民大学講座
「古墳時代の枕について」永山はるか 【24名】
 - ・12月16日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座
「百舌鳥・古市古墳群と倭の五王」廣瀬時習 【76名】
 - ・12月19日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「継体天皇の楠葉宮と幕末の楠葉台場の現状を訪ねる」玉井 功 【14名】
 - ・1月13日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座
「淡輪古墳群と古代氏族の盛衰」森本 徹 【61名】

- ・1月16日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「新春の布留・石上に「まつり」と「古墳」を言祝ぐ」玉井 功 【16名】
- ・1月27日(水) 歴史を楽しもうかい 第277回講座
「対外交易からみたヤマト王権と葛城氏」森本 徹 【118名】
- ・1月27日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座
「今城塚古墳と継体大王」廣瀬時習 【56名】
- ・2月6日(土) しおんじやま学び場
「東日本大震災の復興調査と古代東北の鉄生産について」廣瀬時習 【18名】
- ・2月10日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座
「磯長谷古墳群と古代国家の形成」森本 徹 【66名】
- ・2月13日(土) 韓国国立慶州博物館 特別展講演会
「日本の古墳時代」森本 徹 【101名】
- ・2月20日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「河内湖周辺にいた人たちの暮らしを見る」玉井 功 【11名】
- ・3月3日(水) 近鉄文化サロン連携講座
「八尾空港周辺における戦争遺跡―兵舎・弾丸・鉄帽」市村慎太郎 【21名】
- ・3月4日(金) 京都アスニーセミナー
「ヤマト王権と古代出雲～喪葬儀礼にみるその関係～」森本 徹 【184名】
- ・3月12日(土) 祿水苑ウォーク―歴史探訪―
「新沢千塚古墳群と市立博物館の周辺をめぐる」玉井 功 【18名】
- ・3月19日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「泉南の大古墳とそれを支えた生産遺跡」玉井 功 【18名】

②出張ワークショップ(公的機関・組織)

- ・4月29日(水・祝) 第1回泉南市時代行列「古代衣裳着付け」 【17名】
- ・7月20日(日) 堺都市緑化センター「目指せ世界遺産! はにわづくり体験」 【53名】
- ・10月24日(土) 島本町青少年人権教育事業「親子で勾玉づくり体験!」 【100名】
- ・7月31日(金) 島本町放課後こども教室「勾玉づくり」 【50名】
- ・8月5日(水) 古市古墳群に学ぼう「はにわづくり」 【14名】
- ・9月11日(金) 藤井寺高校 文化祭「変身コーナー」古代衣裳体験 【70名】
- ・2月7日(日) 富田林市こども会育成連絡協議会「勾玉づくり」 【30名】
- ・3月6日(土) かしば産業展「古代衣裳体験」 【95名】
- ・3月25日(金) 第8回 弥生フェスティバル マーブル勾玉グッズをつくろう 【57名】

③出張ワークショップ(民間)

- ・5月5日(火・祝) 羽曳野市民フェスティバル
こども考古学講座～ねん土でつくる埴輪編～ 【100名】
- ・7月5日(日) あべのハルカス まなぼスタジオ 夏のこどもチャレンジ
はにわ貯金箱を造ろう 【79名】
- ・8月1日(土) うえろくこどもワークショップ「勾玉工作」 【22名】
- ・8月6日(日) あべのハルカス縁活 「アスカイザー」と古代を知ろう!
勾玉づくり体験 【90名】
- ・8月13日(木) 阪急西宮 コトコトステージ「勾玉づくり」 【43名】
- ・10月25日(日) 道明寺天満宮 宮小屋「はにわづくり」 【38名】

④でかける博物館講演会 in りそな銀行本店 【555名】

- 2月7日(日) 『倭の五王の時代ー考古学と文献史学から考えるー』
「倭の五王と東アジアの国際関係」森 公章氏(東洋大学文学部教授)
「倭王武(雄略大王)とその時代」白石太一郎(当館館長)

⑤でかける博物館講座『考古学からみる古代の生活3』(近鉄文化サロン共催)

- ・6月18日(木) 「土器づくりと女性」市村慎太郎(当館総括学芸員) 【30名】
- ・8月20日(木) 「古墳時代の女性と造形」廣瀬時習(当館総括学芸員) 【70名】
- ・10月15日(木) 「卑弥呼と男弟ー考古学からみたヒメ・ヒコ制ー」
白石太一郎(当館館長) 【115名】
- ・12月17日(木) 「古代の女帝とその墳墓」森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【99名】
- ・2月18日(木) 「腕輪形石製品からみる古代の女性」永山はるか(当館学芸員) 【73名】

(3) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。また、歴史教育の一助とするともに、当館の認知度アップにもつなげた。

- 4月28日(火)～5月24日(日) 大阪府立狭山池博物館
「一須賀古墳群と寛弘寺古墳群」 【12,017名】

(4) 地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭、遺跡発掘現地説明会などの催しへ積極的に参加した。

- ・5月23日(土) 2015大坂夏の陣 in 万博 土器パズル 【130名】
- ・7月5日(日) 羽曳野市七夕まつり 古代衣裳・土器パズル 【130名】
- ・9月5日(日) さかいたかいしJCフェス 土器パズル 【50名】

- ・10月4日(日)大阪ミュージアムフォトコンテスト表彰式
土器パズル・銅鏡パズル・世界遺産塗り絵 【112名】
- ・11月21日(土)かなんフェス「考古学者へタイムアタック」
土器パズル・世界遺産塗り絵 【77名】

7. 「体験する博物館」事業

(1) 夏季企画展関連行事 古墳時代の冑(かぶと)をつくろう!

夏季企画展の内容に関連し、鉄の地板を模したボール紙と、鉄鋌を模したピンを用いて、鋌留技法による衝角付冑の製作を行う体験学習を開催した。

- ・7月26日(日) 【16名】
- ・8月29日(土) 【24名】

(2) 夏休み子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

- ・8月16日(日) 【152名】

(3) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

- ・7月25日(日) 【36名】
- ・8月8日(土) 【42名】
- ・8月22日(土) 【39名】

(4) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

- ・4月29日(水・祝)第1回泉南市時代行列 【17名】
- ・5月3日(日・祝)古墳時代まつり 当館 【71名】
- ・5月5日(火・祝)当館 【60名】
- ・6月26日(金)羽曳野市七夕まつり【事前講習】 【7名】
- ・7月5日(日)羽曳野市七夕まつり 【130名】
- ・9月11日(金)大阪府立藤井寺高等学校文化祭PTA 【45名】
- ・11月22日(日)当館 【21名】

- ・ 3月6日(土) かしば産業展 【95名】
- ・ 3月26日(土) 当館 【68名】
- ・ 3月27日(日) 当館 【89名】

(5) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。廃材などを有効に活用することで、エコ活動の意識を醸成するとともに、伝統的な玩具などの工作を行った。 【12回・533名】

- ・ 4月18日(土) ぐるぐる体操ロボット
- ・ 5月16日(土) ぴよこぴよこペンギン
- ・ 6月20日(土) やじろべえを作ろう
- ・ 7月18日(土) かたこと人形
- ・ 8月16日(日) 夏休みこども工作室
- ・ 9月12日(土) カムで動くおもちゃ
- ・ 10月17日(土) うごくカップ麺〇〇
- ・ 11月21日(土) だまし絵ホーン
- ・ 12月19日(土) スノードーム
- ・ 1月16日(土) かざぐるま
- ・ 2月20日(土) 節句の植木鉢をつくるぞー
- ・ 3月19日(土) こま(独楽)づくり

8. 企業との連携事業

(1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。また、りそな銀行本店より会場をお借りして講演会を実施した。

6(2)④参照。

(2) 遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

- 6月3日(水)～5日(金) 国際交流サービス 出雲 史跡と考古の旅 【47名】
- 2月16日(火)～18日(木) 国際交流サービス 筑後・肥前 装飾古墳の旅 【46名】

9. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

博物館だより Vol. 43 9月30日発行 4,000部

博物館だより Vol. 44 3月31日発行 4,000部

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

館長以下、学芸員の研究報告、博物館活動の紹介、年間事業報告などを掲載する館報を刊行した。 3月31日発行

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

【報道提供17回・新聞雑誌広報等掲載回数169回】

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や、近畿圏の博物館との広報連携を通じて、より効果的な広報活動を展開した。

(6) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

【HP更新149回 アクセス数138,880】

10. 研究事業

(1) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業(今年度はかしば産業展におけるワークショップ)の開催など、相互協

力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動にも努めた。

(2) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者 【169名】

海外研究者 【39名】

(3) 研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座、外部依頼の講座において、研究成果を掲載し、発表した。

(4) 客員学芸員の任命

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員2名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、普及活動の実施、図録の原稿執筆、講演会事業などでの助力を得た。

1.1. 資料調査収集製作事業

(1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

(2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

1.2. サービス事業

(1) 特別開館日の設定

来館者の多い、8月の盆休暇中の月曜日(8月10日)を臨時開館して利用者への便宜を図った。

(2) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等を通して、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

(4) ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対するきめ細やかなサービスを行うため、展示解説研修を実施した。

(5) 設備の更新

空調の間欠運転により、省エネに対処した。

自動火災報知設備の配線調査ならびに修繕を行った。

不活性ガス消火設備の配線調査を行った。

耐用期限を迎えた屋内消火栓ホースの取替作業を行った。

風土記の丘トイレの修繕を行った。

風土記の丘入口重量門扉の修繕を行った。

風土記の丘汚水処理施設内余剰水の引き抜き処理を実施した。

特別収蔵庫、ならびに修羅室の蒸気発生装置の調整、修繕を行った。

四天王寺式伽藍模型解説表示装置の修理（UPSバッテリー交換）を行った。

仁徳陵古墳模型の拡大カメラモニターの修理・機材更新を行った。

13. 自主事業

当館にふさわしい魅力あるグッズの販売に努め、新規取扱商品を増やした。

14. 入館者数及び入館料一覧

(平成27年度)

区分	入館者数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展	3,228	2,655	5,883	18,744	24,627	881,220	101
割合 (%)	17.6	16.6	17.2	28.1	24.4	12.9	
春季特別展 (4・25～6・28) 古代出雲とヤマト王権	6,922	4,527	11,449	16,938	28,387	3,052,080	56
割合 (%)	37.8	28.3	33.4	25.4	28.1	44.6	
夏季企画展 (7・18～9・13) 馬がやってきたころ	2,923	2,152	5,075	7,537	12,612	817,580	51
割合 (%)	16.0	13.4	14.8	11.3	12.5	11.9	
秋季特別展 (10・3～11・29) ワカタケル大王の時代	3,125	3,674	6,799	10,349	17,148	1,246,140	50
割合 (%)	17.1	23.0	19.8	15.5	17.0	18.2	
冬季特別展 (1・23～3・21) 歴史発掘おおさか2015	2,092	2,995	5,087	13,157	18,244	849,060	51
割合 (%)	11.4	18.7	14.8	19.7	18.1	12.4	
合計	18,290	16,003	34,293	66,725	101,018	6,846,080	309
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成26年度実績	18,006	15,513	33,519	74,541	108,060	6,459,560	306
平成25年度実績	16,787	13,961	30,748	71,961	102,709	6,264,240	305
平成24年度実績	16,637	18,099	34,736	81,687	116,423	5,973,240	305

VI 日本民家集落博物館事業

1. 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア

国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉

未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。

また、「セミナーハウス」を設置している。

② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア

大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定有形民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定 = 北河内の茶室、剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

③ 「むかしのくらし展示」

稲作に関係する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和 30 年代の一部屋を再現している。石臼体験コーナーを併設。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

① 「春のてまり展」

ア. 開催概要 日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

イ. 開催期間 平成 27 年 4 月 5 日(日)～4 月 19 日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

② 「木目込み人形展」

ア. 開催概要 紅山多喜子氏寄贈による人形展。

イ. 開催期間 平成 27 年 6 月 2 日(火)～6 月 21 日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

③ 「紙すき工房どんぶり作品展」

ア. 開催概要 障がい者と支援グループによる絵画と書の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成 27 年 8 月 22 日(土)～9 月 4 日(金)

ウ. 場 所 南部の曲家

④ 「こけし YOSHIO コレクション展」

ア. 開催概要 芳尾良祐氏寄贈によるこけしコレクションを展示した。

イ. 開催期間 平成27年10月3日(土)～10月25日(日)

ウ. 場所 堂島の米蔵

⑤「能・狂言面展」

ア. 開催概要 「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

イ. 開催期間 平成27年11月1日(土)～11月15日(日)

ウ. 場所 堂島の米蔵

⑥「游心会展」

ア. 開催概要 「游心会」会員による書道作品を展示した。

イ. 開催期間 平成27年11月7日(土)～11月15日(日)

ウ. 場所 日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、大和十津川の民家

⑦「みんなのボランティア展」

ア. 開催概要 当博物館のボランティア活動をしていただける方々の作品展。

イ. 開催期間 平成28年1月16日(土)～1月31日(日)

ウ. 場所 堂島の米蔵・日向椎葉の民家

⑧「民家集落ペン画展iv」

ア. 開催概要 当博物館の民家を描いたペン画作品展。

イ. 開催期間 平成28年1月12日(土)～1月27日(日)

ウ. 場所 堂島の米蔵

(3) 企画展示

①「陳国棟スケッチ紀行展」

ア. 開催概要 中国人留学生による全国の伝統的な民家や町並みを紹介するスケッチ展。

イ. 開催期間 平成27年10月3日(土)～10月12日(月・祝)

ウ. 場所 日向椎葉の民家

②企画展関連講座「日本の船小屋」

ア. 開催概要 陳国棟氏が調査した現存する伝統的な形式の船小屋について講演を行った。

イ. 開催期間 平成27年10月3日(土)

ウ. 場所 セミナーハウス

③民族芸能公演「椎葉神楽」

ア. 開催概要 国の重要無形民俗文化財である「椎葉神楽」の招致公演を宮崎県椎葉村の協力により実施した。

イ. 開催期間 平成27年11月22日(日)

ウ. 場所 日向椎葉の民家

3. 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月26日(日)～ 5月17日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5月1日(金)～ 5月6日(水・休)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	6月28日(日) ～7月7日(火)	大和十津川の民家縁側	
お盆飾り	8月12日(水)～ 8月15日(土)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
正月飾り	1月5日(日)～ 1月17日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月10日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 107食
桃の節句・雛飾り	2月13日(土)～ 3月21日(月・祝)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこ掘り	4月19日(日)	館内竹林	雨天により中止
むかしの遊び(万華鏡、折り紙、コマ作り、竹馬、腹話術を聞いてみよう)	5月2日(土)・3日(日)・4日(月・祝)・5日(火・祝)・6日(水・祝)	館内広場 日向椎葉の民家	竹山慶次 他 約357名
養蚕体験糸つむぎ	8月23日(日)	飛騨白川の民家	博物館スタッフ 40名
紙すき体験	8月22日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 どんぶり 20名
はたおり体験	10月23(金)・24(土)・25(日)	南部の曲家	かるがも広場 76名
みんかの餅つき	2月7日(日)	日向椎葉の民家前	紅山多喜子 他 56名

コマ遊び	4月4日～7月4日・9月5日～12月5日・2月20日～3月26日の各土曜日33回実施	日向椎葉の民家前広場	川島正雄 他 621名
石臼体験	4月5日～6月21日・9月6日～12月13日・1月17日～3月20日の第1～3日曜日30回実施	石臼コーナー	大坪 章 他 141名
わらざうり作り	10月25日・11月8日・3月6日・3月20日の各日曜日4回実施	南部の曲家他	山本捷子 他

(3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

1) 市民オープンイベント

① みんか朗読会

ア.内 容 朗読会「グループ雲」による日本文学の朗読。

イ.実施日 4月26日(日)・3月20日(日・祝)

ウ.場 所 大和十津川の民家

② フォークコンサート

ア.内 容 フォークソング愛好会「バガボنز」による演奏会。

イ.実施日 4月29日(水・祝)、10月24日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家・小豆島の農村歌舞伎舞台

③ 絵巻物語とマジック

ア.内 容 「SA 豊中・観覧車」による絵巻物語とマジック。

イ.実施日 5月30日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

④ クラリネットアンサンブルコンサート

ア.内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。

イ.実施日 4月12日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑤ 奄美・沖縄の島唄と踊り

ア.内 容 「奄美・沖縄島唄ユイゆい」による民俗芸能公演。

イ.実施日 10月12日(月・祝)

ウ.場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

⑥ むかし話を聞きましょう

ア.内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。
イ.実施日 6月7日(日)・10月24日(土)・3月21日(月・振休)
ウ.場 所 日向椎葉の民家・飛騨白川の民家

⑦ 宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～

ア.内 容 岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。
イ.実施日 9月22日(火・祝)
ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑨ 落語で笑ろうて民家

ア.内 容 「大阪百楽の会」による落語会。
イ.実施日 10月4日(日)
ウ.場 所 大和十津川の民家

2) 博物館ボランティア連携イベント

①お茶会

ア.内 容 ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催。
イ.実施日 4月4日(土)、18日、5月2日、16日、6月6日、20日、
7月4日、18日、9月5日、19日、10月3日、24日、
11月7日、21日、12月5日、19日、1月16日、
2月20日、3月19日 計19回

ウ.場 所 北河内の茶室

②民家集落わくわくワークまつり

ア.内 容 「服部緑地10月祭」に協賛し、親しめる博物館としてPRする
ため、ワークショップ、民家のふるさと物産展、模擬店、
コンサート、カフェ等を実施した。

(当日参加者数 1,208名)

イ.実施日 10月24日(土)

③春の敬老フェア&民家で甘酒

ア.内 容 毎月15日に実施しているアクティブシニアの日(65歳以上入
館料半額)を2日間に拡大するとともに、ボランティアの協力
を得て、越前敦賀の民家の囲炉裏端で甘酒のサービスを行った。
(期間中シニア入館者93名、甘酒配布数80)

イ.実施日 平成28年3月5日(土)～3月6日(日)

4. 普及啓発事業

(1) 民家解説等の開催

①民家解説

ア.内 容 当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉
裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

②民家特別公開

ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ.期 間 通年（毎週火曜日午後）

ウ.場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

(2) 囲炉裏体験

ア.内 容 41名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

ウ.場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

(3) 連続講座

「民家集落セミナー」と題して、民家や町並み、日本の暮らしについて考えを深める講演会を開催した。

第一回 「ニュージーランドの多様な現地保存と震災の爪跡」

講 師：瀧端真理子（追手門学院大学教授）

開催日：平成27年5月24日（日）

第二回 「対馬の住まい」

講 師：森 隆男（関西大学教授）

開催日：平成27年5月31日（土）

第三回 「昔話から都市伝説まで」

講 師：鳥越皓之（早稲田大学教授）

開催日：平成27年6月13日（土）

第四回 「北欧の野外博物館」

講 師：杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）

開催日：平成27年6月27日（土）

第五回 「佐渡の町家/越後の町並」

講 師：大場 修（京都府立大学教授）

開催日：平成27年7月11日（土）

5. 学校教育連携事業

(1) 中学生の職場体験学習

ア.内 容 豊中市立第17中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ.期 間 平成27年11月10日（火）～11日（水）

ウ.受入人数 2名

(2) 小学校の体験学習

ア.内 容 小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ.実施日 平成28年1月19日(火)他

ウ.受 入 大阪市立視覚支援学校他 計9校 550名

6. ボランティア活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、60名が活動した。(新規登録者2名)

7. 施設整備事業

(1) 園路等の補修

ア.内 容 信濃秋山の民家階段の整備を行った。

イ.工事期間 平成28年2月4日(木)～3月24日(木)

8. 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋・冬の催し案内(9月～3月)	7月	13,000部
春・夏の催し案内(4月～9月)	2月	13,000部

(2) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(3) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(4) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FMラジオ、ミニコミ紙、北大阪急電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(5) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗(上・下巻)」を頒布した。(実績・・・民家の案内210冊、

民俗 11 冊)

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

9. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

10. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成 27 年度)

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4月	3,963	1,398,000	26
5月	4,575	1,336,750	27
6月	1,926	545,550	25
7月	1,932	450,500	27
8月	1,495	414,550	26
9月	2,802	881,900	26
10月	6,434	1,481,400	27
11月	3,976	1,205,800	25
12月	1,705	503,350	24
1月	2,363	666,100	24
2月	4,485	1,337,900	24
3月	3,028	877,050	27
合計	38,684	11,098,850	308

※入館料は消費税込みで表示

<年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成26年度	35,507人	9,699,650円	303日
平成25年度	34,962人	8,721,650円	304日
平成24年度	39,123人	9,682,350円	305日